新京日日新聞
夕刊
十月十二日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢（郵税）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三三〇〇 營業局專用③三二〇五
發行人 十河忠勇 編輯人 松本榮 印刷人 水越內之介

察哈爾作戰部隊 綏遠を既に包圍す
支那軍殲滅戰開始迫る

【平綏線〇〇十一日發國通】十日午後綏遠省の南方要害〇〇の堅陣を確保した察哈爾作戰軍の各部隊は、綏遠に據る支那軍を擊破すべく河村先遣隊を第一線として〇〇を經て〇〇に進擊した一方內蒙古軍は平地泉および百靈廟、武川の三方面より綏遠の支那軍陣地に向つて進擊を開始し、白塔、綏遠の要害陣地にある支那軍は十一日夕刻全く袋の鼠となり、彼我兩軍が綏遠の曠野に一大激戰を開始する日は刻々迫つた

正太線を遮斷井陘を占據す

【石家莊十一日發國通】平山縣方面より南下する鯉登部隊は冶河に據る敵を擊破西進し、十一日午後五時過ぎ山西省境の井陘に突入した、井陘は石炭の產地として餘りにも有名であるが、一方軍事的にみて河北より山西省に通ずる唯一の關門であり、山西省は今や北は太原の北僅かの原平を押へられ石家莊、井陘陷落により東の通路は遮斷され、かくして太原と省外との交通は僅かに殘る太原—蒲州を結ぶ同蒲鐵路の一線を殘すのみとなり、軍事輸送漸次止り今や全く孤立の運命に陷つた

藁城、欒城、趙州を相ついで攻略

【石家莊十一日發國通】敗走する敵を追つて息つく間もなく石家莊を出發、東南方に追擊の師を進めたわが猪木、長谷川、〇〇の各部隊は迅速疾風の勢をもつて河北平原を南下、猪木部隊は午後二時早くも趙州の西北方四キロの地點に達し、趙州方面の敵に猛攻を加へて同部隊前面の敵を蹴散し、十一日夕刻には趙州もわが軍の手に歸し、長谷川部隊また同時刻頃には欒城東方八キロの地點を東南方に向けて敵を壓迫しつゝ急進、更に〇〇部隊の先鋒は長谷川部隊と轡を並べて欒城と藁城の中間を突破してこれ亦東南方に敵を壓しつゝあり、かくてわが軍は平漢線東方地區に大なる半圓陣を展開して漸次敵を掃蕩しつゝ南下してゐる

坂西部隊元氏を占據

【新樂十二日發國通至急報】敵を急追して南進中の坂西部隊は十一日午後二時半元氏北方八粁の院家村において一ケ團の敵と遭遇、これを攻擊し交戰三時間の後午後六時これを擊破して夕刻元氏に進入これを占據した

內閣參議設置で
名實ともに戰時体制整備

【東京國通】近衛內閣の強化機關としていよ／＼設置せらるゝことゝなつた內閣參議は支那事變の勃發と同時に近衛首相によつて意圖された內閣強化の具體案がこゝに結實したもので、噂に上つてゐる人名の顔觸れは何れも各方面にあつてそれ／＼の勢力を代表し、何等かの意味をもつて現役として活躍してゐる一流の人材で所謂大物で、近衛內閣を補佐して時局を乘りきるに相應しい清新味をたゞよはしてゐる、その使命は事變に對する諸對策と長期戰爭に備へる萬全策が中心的任務で、首相を補け擧國事に當るの實を發揮せんとするものである、つぎに注目すべき近衛內閣誕生の重要使命の一たる各方面の摩擦緩和であるが、これは事變發生で完全に解消し、今後はこの擧國一致長期難局打開を目指して進まんとするのが重要課題で、この點軍、政、財界各方面の代表と目せらるゝ人物を公平にピツクアツプして統合したる點は摩擦の緩和擧國一丸に有力なる役割を發揮するものとみられ、この點首相の人選は寧ろ英斷といふべきである、何れにしても新機關の設置によつて今や現內閣は名實共に戰時體制を整へて巨大なる一歩を踏みだしたわけで、これが將來は各方面から非常な期待をもつてみられてゐる

未定の參議 二名決定

【東京國通】內閣參議の顔觸中未定であつた海軍および財界の一名は男爵安保清種大將および池田成彬氏にそれ／＼決定した（寫眞は右上から宇垣一成、荒木貞夫、末次信正、安保清種、町田忠治、前田米藏、秋田清、鄕誠之助、池田成彬、松岡洋右）

各地戰況（十二日朝現在）

▲平綏線方面 綏遠省內の支那軍を首都歸化城に追ひつめ一擧これを潰滅すべく察哈爾作戰軍は着々包圍陣を縮小し、李守信麾下の內蒙古軍またこれに呼應して武川、白塔方面に進擊、雲の綏遠曠野に一大殲滅戰が將に展開されんとしてゐる、山西省太原も同蒲線忻州を作戰軍の手に奪はれ、正太線井陘に迫つた皇軍先鋒部隊の進擊に怯え、今や太原に據る山西軍陣營に白旗あがるの日近きに迫る

▲平漢、津浦線方面 石家莊を十日陷れた皇軍部隊は潰走する敵を追つて南方元氏縣城を屠り、石家莊より西に正太鐵道に沿うて潰亂せる敵を追擊したわが先鋒部隊は昨夕早くも井陘を占據した、また左翼は欒城より南下趙州に進出、かくて平漢線南下部隊は右翼は遠く正太線井陘より平漢線元氏、平漢線東の趙州を貫く線を確保し、束鹿進出した部隊と呼應して平漢線順德方面に進擊してゐる津浦線德州を確保した部隊は潰走する敵を故城方面に壓迫しつゝあり、かくて北支一帶の敵は完全にわが軍のため掃蕩された

▲中南支方面 連日の豪雨にわが荒鷲軍もその翼を休めてゐたが、十一日は久し振りの快晴に勇躍基地を出動、上海全戰線に亘つて猛烈なる爆擊を敢行した

許山電信所占領

【上海十二日發國通】一、今朝午前七時外洋警備中の軍艦〇〇陸戰隊は許山電信所を占領せり
一、軍艦〇〇は本日午後四時頃數日來楊樹浦方面に射擊を行ひつゝある江灣鎮西北魏村橋砲兵陣地に對し猛擊を加へこれを潰滅せり

デマ放送調査に 五ケ國大使館附武官出發

【神戸國通】支那側のデマ放送の眞相を調査すべく直接北支の第一線に赴くアメリカ大使館附武官クレーム中佐、イギリス大使館附武官キヤドイツト大佐、ベルー公使館附武官メダラーダ少佐、シヤム公使館附武官ピラヨダハ少佐、ポーランド大使館附武官ボリビスキー大佐の五氏は十一日正午神戸出帆の長江丸で出發したが同船上で左の如く語つた

支那側の報道は餘り日本側のそれと違ひ過ぎるので實際を見に行く譯だ、しかも現在各國とも支那側のデマに大分迷はされてゐる、われ／＼の日程は約一ケ月で北支を中心として第一線を視察するが、出來れば寺內最高指揮官とも會見したい考へである

なほ同船では文藝春秋の特派員として作家岸田國士氏が出發した

支那側は休戰に應ずる用意あり
孔財政部長泣言洩す

【シンガポール十日發國通】歐米各國を歴訪し支那の軍費調達に狂奔した財政部長孔祥煕は歸國の途十日シンガポールに寄港したが往訪の記者團に對し

日本側がリードしさへすれば支那は直ちに休戰に應ずる用意がある

と語つた、右談話は邦字新聞記者を含む會見においてなされたものであり、責任ある地位の者から發せられた支那側最初の泣言として注目されてゐる

九ケ國條約國會議に イタリー不參加
ポルトガルは反對投票か

【ワシントン十一日發國通】九ケ國條約國會議については目下關係各國政府間で活潑に開催の下準備が進められてゐるが、各國政府とも會議を九ケ國條約調印國だけに限定する意向の模様で、同條約に參加してゐないソヴイエト政府に對しては結局招請狀を發しないのではないかとの意見が有力である、一方イタリー、ポルトガル兩國政府は締約國として當然招請を受けることゝならうが、イタリー政府が參加を拒否することは略々明白だし、また從來スペイン問題に對し公然獨伊兩國政府と行動を共にして來たポルトガル政府が假令會議に參加するとしても如何なる態度に出るか各方面から頗る注目されてゐる、一部消息通の間ではポルトガル代表は反日的動議に對し反對投票を行使して參加各國の共同動作の妨害に重大役割を演ずるのではないかとも見られてゐる

皇軍慰問記者代表平地泉を慰問

【大同十一日發國通】全滿記者聯盟代表察哈爾作戰軍慰問使窪田、寒河江、細野の三氏は代州方面第一線行不可能となつたので轉じて綏遠入りに決定し、十日午後平地泉に向ひ皇軍將兵を慰問、新戰場を視察し、ついで內蒙軍副司令李守信大將を訪ひ大蒙古政權建設の抱負および當面の綏遠城攻擊につき說明をうけ、共に記念撮影の後辭去、同夜一泊十一日大同に向つたが、一行は特派使命を完了したので十二日歸滿の途につくことゝなつた、なほ關外一帶の氣溫は十一日平地泉において零下八度を示し陰山は皚々たる降雪に包まれた

狡猾な支那に乘ぜられるな
り前駐日大使國民に警告

【ロンドン十一日發國通】前駐日大使リンドレエ氏は十一日附のロンドン・タイムスに書翰をよせ、英國が狡猾なる支那の政策に乘ぜられぬやう左の如き警告的意見を發表した

極東の事態を絶えず注視してゐる程のものなれば支那が日本軍を上海方面に誘導し、こゝで戰爭を行はんとはかつてゐることは二つの目的があることにすぐ氣付くだらう、即ち北支に對する日本軍の勢力を分離するのが第一、日本と諸列國との間の空氣を惡化せしめるのが第二目的である、支那は今や第一の目的に成功したが若し吾々で海外事情に對して正當な認識を有せざる一部の言を容れるならば、支那は第二の目的にも成功するだらう、制裁とかボイコツト政策とかによつて英帝國と歐洲の文明國が最後的利益を得るだらうと信ずるのは非常識極まる、英國政府は聯盟規約第十六條制裁規定の削除に努めねばならぬ、なぜならば同規定が存する限り各國家間の關係改善も自足政策の緩和もあり得ないからだ

上海戰線活潑

【上海十二日發國通】去る七日滬西線一帶を確保せるわが陸戰隊は刀を撫し來るべき進擊命令を待機中十一日午後九時半商務印書館附近の敵大部隊は夜陰に乘じて手榴彈、機銃をもつて逆襲に轉じ來りわが佐野、土師兩部隊はこれに反擊を加へつゝあり、敵迫擊砲彈は〇〇方面一帶に落下しわが〇〇砲はこれを制壓すべく猛砲火を浴せ目下激戰中である

敵軍用列車を爆破す

【〇〇十二日發國通】十一日午後三時〇〇根據地にある園田部隊〇〇機は石家莊東南方の柏鄉附近にある敵軍用列車二、三輌を發見、これを爆擊して原形なきまでに破壞したが、同部隊機の偵察報告によれば、平漢線高邑附近には石家莊を脫出全速力に潰走中の敵軍相當部隊が集結してゐる

ス政府軍商船
ヴ港外で襲擊さる

【ヴオン（アルゼリヤ）十日發國通】ニヨン協定の成立にも拘らず地中海不安は更に終熄の模様なく謎の艦船襲擊事件が頻々として傳へられる折柄、十日午前六時頃ヴオン港沖合四十五浬の地點においてスペイン政府軍所屬商船カボサントメート號（一二、五七九噸）が國籍不明の驅逐艦二隻の襲擊に遭ひ遂に沈沒した事件が發生し歐洲に一大衝擊を與へた、即ちカボサントメート號はソヴイエト聯邦からスペイン東國に向け歸航の途十日朝前記ヴオン沖合にさしかゝるや、突如二隻の驅逐艦が現れ無警告でトメート號を目掛けて砲擊を開始した、砲彈の雨を必死に逃れたトメート號は漸くヴアン・ローザ岬を去る三浬の沖合に至り擱坐に成功したが、同艦の擱坐するを見るや二隻の怪驅逐艦は何處ともなく姿を消した、トメート號は火災を起し數時間に亘り炎燒を續け最後に爆發を起して遂に全く水中に沈沒し去つた、乘組員一名即死し六名の重傷者を出した、生存者はラカルにおいて手當をうけてゐる、急報に接してフランス水上飛行隊は直ちに出動附近海面を隈なく搜查したが二隻の怪驅逐艦は遂に發見し得なかつた

大同海運の喜久丸坐礁

【小樽國通】神戸市大同海運の喜久丸（五六五〇噸）は根室で大連行昆布約廿萬石を積込み十日午後十時半頃根室を出帆釧路に向ふ途中納沙布岬燈臺沖合の暗礁に乘上げ、船底に龜裂を生じS・O・Sを發したので、日本サルヴエージ小樽出張所より救助船が急行したが乘組員四十名はいづれも花咲郡齒舞村に上陸した、船體は全く救助の見込みなし

人事往來

着京

▲木村四郎七氏（官吏）十一日來京ヤマトホテル ▲德川守氏（國產電機社員）同 ▲中村謙介氏（會社員）同 ▲染谷保藏氏 盛京時報社長 同 ▲東島善吉氏（滿洲パルプ）同 ▲鈴木精一氏（東京建物社員）同國都ホテル ▲菅沼邦彥氏（三井物產）同 ▲伊藤隆介氏（鑛業）同 ▲山添直江氏（商業）同富士屋旅館 ▲西田篤次郎氏（特產商）同 ▲齋藤安次郎氏（貿易商）同蓬萊ホテル ▲橋本務松氏（同）同 ▲原田進之輔氏（鐵鑛金融組合）同 ▲伏見藤作氏（會社員）同新京ホテル

出發

▲堀哲三郎氏 十一日奉天へ ▲鈴木啓正氏 大連へ ▲平田愛吉氏 哈市へ ▲內田孝氏 安東へ ▲渡邊政夫氏 本溪湖へ ▲中門久之助氏 大連へ ▲大矢嘉代治郎氏 哈市へ ▲河野嘉作氏 吉林へ

その日く

□外交擔つて參議になる前、松岡氏は先づ米國輿論の中核に參じた

□全く、メキシコ人に問ひ、或ひは印度人に問ふべき事のいかに多いことか

□アジアの主人への計算書とあれば、滿鐵資金問題の如き小さなものになる

□ルーズヴエルト大統領、名銓自稱ルーズな演說を訂正するといふ

□愈よ冷氣加はつて冬へと前進、あらゆる方面緊張の要も加はる

日滿一如を現實に攻防演習を展開

各種多大の効果を收めて懇親會食に閉幕

新京警備司令部では非常時局に鑑み在京兩國軍隊における日滿一如の精神を昂揚するため伊藤新京警備司令官、應振復滿軍憲兵司令官統監となり晩秋紺碧の新京郊外大房身を中心にして十二日午前十時より左の想定に基き日滿聯合演習を展開した、東軍岡本中佐西軍鈴木中佐指揮官のもとに兩軍それ〲配置につき午前十時演習開始、直ちに市街攻防戰に入つたが、薄田次長、澁谷警務司長、青木警務課長をはじめ日滿警備關係者多數の觀戰あり、午後零時半多大の效果を收めて終了、參加將校及び觀戰者は直ちに軍人會館に於て懇親會食を行つた【寫眞は上から聯合演習を終つて伊藤警備司令官の閲兵（中）西軍（滿軍）斥候の活躍（下）東軍（日本軍）の進擊】

想定

△東軍

一、懷德方面より東進する敵を擊滅すべき任務を有する東軍は十月十二日早朝以來新京西側地區において遭遇し戰鬪中なり

一、敵の右側背を攻擊すべき任務を有し吉林街道を西方に急進中なる東軍枝隊は同日午前十時興仁大路國務院附近に達し東軍枝隊長は同時刻左記の諸件を知得す

イ、友軍航空隊の通報によれば午前九時三十分連京線に沿ふ道路上孟家屯驛の西南方約三キロ附近を兵力未詳の敵縱隊の先頭通過し、その後方二、三千米に一縱隊、さらに續行し東北進中なり、又同時頃敵らしきもの主力をもつて孟家屯驛より東方に一部は鐵道線に沿ひ前進中たるを見る

△西軍

一、吉林方面より西進する敵を擊滅すべき任務を有する西軍は十月十二日早朝以來新京西側地區において遭遇し目下戰鬪中である

一、敵の左側背を攻擊すべき任務を有し連京線に沿ふ道路を東北方に急進中なる西軍枝隊は同日午前十時南新京驛田家油房附近に到着し同時刻左記の諸件を知得す

イ、友軍航空隊の通報によれば午前九時三十分吉林街道上新京東端伊通河橋梁を兵力未詳の敵自動車隊通過、西南進し、又その後方二、三千米に砲を有する一縱隊前進中なるを見る

なほ東西兩軍主力方面の戰鬪は目下砲聲殷々として盛なり又兩軍飛行機は盛んに上空を飛翔す

滿鐵殉職社員の嚴かな慰靈祭

新京全社員默禱捧ぐ

滿鐵創業以來大陸開發の衛前に立ち國策に殉じた社員の英靈六千九百二十八柱を祀る第十一回殉職社員慰靈祭は十二日午前十時から大連滿鐵本社殉職記念碑前に於て嚴かに執行された、此の日全滿廿萬社員はもとより世界各地に在る滿鐵機關關係社員は一齊に業を休み先輩の靈に心から感謝の意を表した、新京にては午前十時三十分より在京三千社員支社前庭に整列本社に向ひ三十秒默禱を捧げ事業を休んで敬意を表した（寫眞は在京社員の默禱）

張總理、星野長官より弔電

十二日午前十時半より大連滿鐵本社において擧行された滿鐵社員會合同慰靈祭に當り張國務總理及び星野總務長官は松岡總裁に宛て左の電報を發した

▲張總理電文　貴社創業以來の殉職社員五千餘名の合同慰靈祭を擧行せらるゝに當り謹みて御功勞を謝し御冥福を祈る

▲星野長官電文　滿洲開發の先驅者として尊き殉職を遂げられたる貴社創業以來の殉職社員五千餘名の合同慰靈祭を擧行せらるゝに當り謹みて諸烈士の御冥福を祈るとゝもにこの機會においてこれ等殉職々員の功勞に對し深厚なる敬意を表す

服毒青年身許

十二日付夕刊既報、永樂町三丁目飲食店怡馨樓（義興樓は誤り）に於て服毒自殺を圖り國都醫院齊藤醫師の手當を受けつゝあつた身許不明の青年は調査の結果本籍島根縣周吉郡磯村大字加茂現住所梅ヶ枝町三丁目一二橋本勝（二四）で病氣を苦に厭世自殺と判明した、尚生命はとりとめ漸次快方に向ひつゝある

氣溫の低下と共に病疫も終熄へ

防疫當局萬全を期す

十日大連に入港した漁船にコレラ發生し直ちに患者は隔離され乘組員、船舶は沖合に繋留され大消毒を行つた結果その後發生せず、十一日民生部衞生司防疫科に疑似コレラ發生の情報が二、三あつたが眞相調査の結果十二日に到り何れも虛報と判明した、衞生科では上海及び大沽方面より特別にペストの侵入なき限り本年は氣溫の低下とともに漸次終熄するものとみて危險地帶に防疫指令を發して萬全を期してゐる

農安のペストホツと一息

十二日からバス運行

農安縣二青山のペストは當局必死の防疫によりその後新發生患者を見ず最早續發の憂もなくなつたので農安伏龍泉間のバス運行停止を解除し之を制限乘車とし發生屯を中心とし半徑三十滿里以內の地域に關する一切の防疫制限は發生屯の嚴重なる隔離監視の下に之を解除、華家、萬寶山、小合隆三驛の乘車制限を解除（但し乘込檢疫は引續き實施）することに十二日から實施することに決定した

溫情を仇に　盜んで捕はる

本籍朝鮮全羅南道生れ住所不定金田富久こと金熙錬（二二）は竊盜罪により本年七月末旅順刑務所を出獄した前科二犯の札つき者であるが去月末來京して新京署成松刑事の同情により就職運動中であつたが、以て生れた盜癖にまたしても去る七日午後二時頃特別市興運路興運莊七號內和輔一郎氏方に不在中侵入して衣類四十八點在中の行李、トランク時價百圓餘を竊取入船町三丁目下宿金志變に潜伏してゐたが成松刑事に看破され十二日午前八時逮捕された

五年前の指名犯人　領警署で逮捕

天網疎にしてもらさず昭和八年十一月十四日付を以て寺田大連署長より詐欺指名犯として手配された本籍熊本縣飽託郡松尾村當時大連土佐町五四志垣一馬（二八）は五年ぶりに七て領警署岩田刑事に逮捕されたが、志垣は昭和七年十二月大連龍田町四十二、大谷たつさんの債權取立を内海辯護士の事務員と稱して二百圓を詐取さらに債權證書百圓一通ほか他人名義賴母子講三通を所持の上八年十一月頃所在を晦ましたものであつた、その後敦化、山家屯、新站等の各守備隊通譯として轉々し去月十七日北支で一働きをもくろみ滿洲國人の妻女同伴で來京、城內西五馬路春陽旅舍に投宿の上西四馬路芙蓉阿片小賣所に出入して阿片を吸飲してゐたが、十一日午後九時半頃右阿片店に岩田刑事が踏み込んで御用となつた

社員會聯合會傷病兵慰問

舞踊や獨唱、演奏で

滿鐵社員會新京聯合會では十七日午後一時から新京陸軍病院を慰問し青い鳥の舞踊、泉夫人の獨唱、滿鐵、京商兩ブラスバンド演奏等を催し無聊に苦しんでゐる傷病將兵を慰めることになつた、決定したプログラムは左の如くである

△第一部＝舞踊（青い鳥）（一）オランダ踊り（二）花嫁人形（三）待ちぼうけ（四）メニユエット（五）ケキヨ〱鶯（六）ニヤン〱猫の子（七）叱られて

△第二部＝獨唱（泉夫人）（一）童謠雨降り（二）童謠露路の細道（三）ソプラノ波浮の港（四）かきつばた（五）スパニヨラ

△第三部＝吹奏樂（滿鐵京商兩ブラスバンド）（一）行進曲關東軍行進曲（二）舞曲滿洲の曠野（三）行進曲歡喜（四）和曲軍用鞄（五）行進曲勝利の父（六）行進曲威風堂々（父）軍歌日本陸軍の歌

旅順港に於る海威號

友邦日本海軍より贈られた滿洲國海上警備隊に一大威力を加へる警備艦海威號は十一日午後二時半折からの烈風と降雨を冒して旅順港外に雄姿を現はし僚艦「海龍」、「海鳳」の出迎へを受け、東港に入港した【寫眞は海威號】

滿體協會の體育館設立打合せ會

滿洲體育保健協會では新京、奉天、撫順、大連、牡丹江、齊々哈爾、哈爾濱の各大都市に設置さるべき體育館問題につき打合せをなすため、各支部常務理事ならびに建築主任者二名を新京に招致し、來る十五日午後一時よりヤマトホテルにおいて打合會議を行ふが、本部側より皆川教育司長平野體育保健科長、永島書記長始め滿鐵より山口支社長、市側より關屋副市長等が出席の筈で、提出議案は

一、體育館設立の促進問題について

一、建築樣式に對する意見の交換

一、建築技術上における具體的打合

等である

國婦慰問使　派遣方協議

國防婦女會は過日決定した北支皇軍慰問派遣員に

首都支部　馬王佐臣
吉林支部　王秀英
奉天支部　王毅君
哈爾濱支部　王梅光

の四女史を選出して寺內最高指揮官への感謝狀、中國婦女に與へる聲明書及び慰問品を携へて協和會第二回慰問團と同行二週間の豫定で來る十五日出發する事となり、これが打合の爲十四日正午より協和會本部に關係者參集會議を開き旅程慰問方法其の他を決定する

鐘紡の北滿進出　裕慶德毛織を買收

哈爾濱市道外に工場を有し絨氈七萬七千枚、毛布二十萬ポンド毛織物十二萬碼の年生産能力をもつて滿蒙毛織會社と共に全滿における二大毛織物會社の一つとして滿洲毛織界にその歷史を誇つた裕慶德毛織股份有限公司（滿人經營民國十一年創立、公稱資本百萬圓）は、近時兎角の營業不振と莫大な負債のためかねて鐘紡との間に賣買交渉が進められてゐたが、目下滯哈中の鐘紡出張員との間に最後的折衝の結果、工場設備その他の不動產、動產の一切は約百廿萬圓をもつて鐘紡の手に買收されることに決定をみた、一方買收した鐘紡では差當り資本金三百萬圓（拂込百五十萬圓）をもつて康德毛織株式會社を新設することゝなり、十一日名義變更手續きを開始したが右買收はかねてパルプ工業、牧畜業その他の企業に北滿進出を企圖してゐる鐘紡が積極的北滿進出の第一歩を現實に踏み出したものとして同會社今後の活躍は注目されてゐる

業者と客を一堂にサービス座談會

先づカフエーから

新京觀光協會では豫て觀光客のみならず一般顧客に對する各業者のサービス改善につき種々研究に腐心しつゝあるが「如何にしたら業者もよく客も滿足するか、如何なる點を改良すべきか」等を各營業主從業員、顧客が忌憚なく意見を問答し向上に資するため各業別に座談會を開くことゝなりその第一回を本社の後援で來る十五日午後二時より記念公會堂に於てカフエー業者、從業員、顧客の參集を求めカフエーサービス座談會を開催する、なほ引續いて各業別に開催する豫定である

永田警部榮轉

新京警察署保安主任永田善男警部は關東局警務部保安課に榮轉、十二日挨拶に來社

ヤンキース優勝

【ニユーヨーク十日發國通】ワールドシリーズ、ヤンキース對ジヤイアント第五回戰は十日午後二時からポロ・グラウンドで擧行、遂に四對二でヤンキース軍第五戰を獲得、四對一の成績で堂々本年度ワールドシリーズに優勝した

あす（十三日）

▲戊申詔書記念日
▲國民精神強化週間第一日
▲戰死者遺骨離京、午前十時三十分
▲商業學力試驗合格證授與、午前十一時半、公會堂第二集會室
▲滿洲國體育聯盟理事會、午後四時半、協和會館
▲軍用鳩展覽會、寶山百貨店
▲酒井雲公演、午後五時、公會堂

◇今晩の主なる演藝放送◇

▲八・一〇無憂劇「幕の內外」（東京）曾我廼家五郎一座
▲九・〇〇連續講談「秋葉の仇討」（東京）神田ろ山

館令第六號

昭和十二年一月四日附館令第一號特殊地帶旅行移住者取締規則中左ノ通改正ス
昭和十二年九月二十六日
在新京
總領事代理　柴崎白尾

第二條中「滿十四才以上ノ」ヲ削除ス
第十一條中「五十圓以下ノ罰金」ヲ削除ス
第十二條中「所屬長の發給シタル身分證明書ヲ携帶スルモノ」ノ次ニ「若ハ滿十四才未滿ノモノ」ヲ加フ

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

館令第七號

昭和十二年九月五日附館令第五號支那方面旅行移住者取締規則中左ノ通改正ス
昭和十二年十月十二日
在新京
總領事代理　柴崎白尾

第一條中「樣式ノ願書二通」ノ下ノ「ヲ」ヲ削リ「ニ寫眞二葉ヲ添ヘテ」ヲ加フ

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

父定吉儀豫而病氣療養中の處十月十一日午後六時死去致し候間此段謹告仕候
追而葬儀は十三日午後三時祝町太子堂にて告別式相營むべく候
昭和十二年十月十二日

男　鹿內康隆
親戚總代　中田六郎
友人總代　久野清太郎
大新京料理店組合總代　勝矢憲
大新京檢番總代　楠野權一
　吉田庄太郎

商工省でも 輸入制限

生フイルムの輸入制限は映畫界にとつて正に死活を制する重要問題なので、大藏省當局の爲替管理に關する態度は痛く注目されてゐる處であるが商工省にあつても去る四日の貿易審議會初總會に附議決定八日から實施となり、臨時輸出入許可規則中活動寫眞機その他が「輸入禁止をなすため所謂不要不急品に對する許可制」を餘儀なくされるに至り更に大藏省と相俟つて輸入制限に拍車をかける事になつたこれは一面商工省側が外國フイルムに對する國產富士フイルムの積極的助成方針によるものであることは無論であるが、富士側の增產計畫が遲々として進捗しない今日頗る前途に懸念さるべきものが多い、尚は大藏省の許可制は徹底的に强化されて、從來の一千圓以上も實際には繰下げられてゐる

松竹「母への抗議」配役決定

戰時體制の秋、眞の擧國一致の協力團結は、世界無比の良風美俗たる、我が家族制度の確立强化にあり、覺醒せる母性こそ、その圓心でなければならぬことを全日本の母性へ警告せんとの松竹大船深田修造監督の社會問題篇『母への抗議』は愈よ撮影を開始したが特に大船新花苑より新人原清子を異數の大役に拔擢し、總スタツフは次の如く決定した、脚本は齋藤良輔、監督は深田修造、撮影は渡邊健次

長谷川博士(齋藤達雄)憲吉(佐野周二)富士子(槇芙佐子)藤田博士(宮島健一)お濤(葛城文子)お秋(吉川滿子)英美(三宅邦子)政子(原清子)街の男A(長尾寬)同B(二木蓮)同C(成田不二夫)運轉士(日守新一)

飛行將校から映畫監督へ! リツター監督

映畫統制によつて、幾多の映畫人が國外に去り、暫く不振を極めた獨逸映畫界は最近ぼつぼつと新人の擡頭で、再び世界の第一線に躍り出してゐるが、その中での異才は「スパイ戰線を衝く」一作によつて我國に紹介されるカール・リツター監督である、彼は大戰に活躍した飛行將校で、ナチの統制と共にウフア撮影所に入りプロデユーサーとして「ヒツトラー靑年」「大空の驚異」等の國策映畫を製作したが、今回は自ら監督をも兼ねて「スパイ戰線を衝く」を第一回に發表すると、玄人はだしといふ手際で評判で同映畫はウフアとして何年ぶりかの大當りをとり、次いで今年度のウフアでは「愛國者」・「ミヒヤエル計畫」「祖國の敵ナンバーワン」「誓約の休暇」等四つの大作を製作並びに監督することを發表した、何れも國策的戰爭映畫或ひはスパイ映畫である點も注目されやう

旅順港 帝都キネマ 廿日封切

溝口監督次回作

今年度日本映畫界の最高峰「愛怨峽」を發表して以來暫く沈默してゐた新興大泉の巨匠溝口健二監督は全國的待望の只中に愈よ次回作を決定發表する事となつた、都新聞連載丹羽文雄氏の傑作「薔薇會議」の映畫化がそれで、シナリオは溝口物の絕對的名パートナー依田義賢氏、この近代文壇の寵兒丹羽氏が描く香氣高い戀愛の世界を、女の描寫正に神技の評ある大溝口がいかに映畫に移殖するか、今秋以後の映畫界に大きな話題を呈し素晴らしい反響をよんでゐる

◇◇命を賭ける男◇◇

パラマウント映畫 ゲイル・パトリツク、リカルド・コルテス、エイキム・タミロフ、トム・ブラウン等新進中堅どころが共演する映畫で、「少年Gメン」のエドワード・ルドヴイツクが監督に當る作品、賭博仲間の顏役である男が、同じく賭博常習者に陷らうとする弟を改心させるため、挑戰に應じて始めてイカサマ賽を用ひて弟を破る、弟はイカサマを使ふ兄を輕蔑し一生賭博はしないと誓ふ然し弟を救つた兄は仲間の掟により銃彈に斃れていつた、日本字幕八卷、豊樂劇場十四日封切

さぼてん

銀パレスの摩耶子、山田順子のバーにゐたといふ丈のことはあつて文壇人の消息に詳しい▲武田麟太郎も丹羽文雄もよく來たわ、林芙美子さんは好きだけど吉屋信子は嫌やねあの人の神經がとてもいやなのよ▲十九であるがませてゐて、もの判りがいゝ、むかふにゐた頃は儲けると週に三日ぐらゐは男の子とハマに遊びにいつたといふから此の方面も相當に察しがいゝに違ひない▲で、新京の文壇人諸君よと敎へる迄もなく氣の早いのが息をはづませて驅けつけるであらう(寫眞はその摩耶子)

雜音

豊樂劇場の「獻金の夕」ニユース映畫の一第一夜は果然階上階下とも超滿員で、員數にしては此春の「新しき土國際版」封切當日に次ぐ盛況客の中に十錢の料金に獻金だからと言つてポイと一圓をほり込んでゆく篤志家もあり時局下らしい風景で展開したと言はれる▼豊劇の觀客層は近頃目立つてインテリが增えて來たやうである、逸早く二本立五十錢(普通)を標榜したことは、こゝの觀客筋だから出來ることでもあつて、今後は作品の選擇に一層の愼重で期せられねばならぬ▼次週はパラマウント「命を賭ける男」同「犯罪王」の二本、手頃なものが並んで、十四日からクーパー、ラフト、デイの「海の魂」は二十一日からの豫定、今月の人氣を背負つてゐる形だ

十月十三日 水曜 舊九月十日 癸酉 赤口 閉 軫宿

●一白の人 名譽福利共に揚る日但人を傷はぬやう注意 乙と丙と壬が吉
●二黑の人 活氣充滿して失意より得意の域に入込べし 丙と壬と癸が吉
●三碧の人 內外共に警戒を要する日旅行轉宅普請等凶 乙と丁と癸が吉
●四綠の人 前に敵を控へ後ろに身方を備ふるが如き日 乙と丙と癸が吉
●五黃の人 進退共に有利に展開すべき日遠行は危險有 甲と壬と癸が吉
●六白の人 計畫は整ひたれども財力の準備未だ成難し 辛と壬と子が吉
●七赤の人 良運廻り來りて進出の好機に會し願望成る 丁と酉と癸が吉
●八白の人 思案に暮れんより一戰を試むべき勇進の日 壬と子と癸が吉
●九紫の人 進擊半ばにして倒るゝが如し內を守るが吉 乙と丁と子が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三〇五 營業局專用(3)三〇〇五
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

同蒲線忻口鎭を占據
太原まであと廿數里
南下皇軍の意氣愈よ揚る

【天津十二日發國通】原平鎭より南下進出せるわが栗飯原部隊は忻口鎭において戰車一、裝甲車三を有する約百名の敵部隊と衝突したが、栗飯原部隊は直ちにこれを擊破し裝甲車一を鹵獲した、かくてわが部隊は先づ忻口鎭北方地區において敵の抵抗を制し、太原を僅々二十數里の間に望み皇軍の意氣はいよ〳〵旺んである

工兵、鐵道部隊石家莊南方に進發

【石家莊十二日發國通】十日深更正定驛を出發した櫻井部隊長の率ゐる挺身工兵部隊および横濱鐵道部隊は、徹宵行軍を續け十一日午前四時ごろ相前後して石家莊驛に到着、空爆の跡すさまじい驛構內を整理し、早くも平漢線南方の敵に對する追擊に移つた

潰走する敵兵を追つて
平漢、正太兩線で殲滅的打擊

【新樂十二日發國通】一氣に石家莊を蹂躪した皇軍の追擊はますます急にして西へ、南へと潰走する敵を追つて奔馬の如く殺到、隨所に殲滅的打擊を與へつゝある、即ち正太線を西進せる鯉登部隊は長驅十里既に十一日夕刻井陘縣城を陥れ、更に西進して十二日午前八時西方三里の莊頭附近に到着懸命に進擊を決行しつゝあり、一方平漢線を南下せる坂西部隊は元氏北端附近に敵大部隊を發見、直ちにこれを包圍十二日朝來大殲滅戰を敢行しつゝあり、大空を蔽ふわが陸軍荒鷲は十二日未明絶好の快晴を利用して續々南方に潰走する敵兵を追つて隨所に大爆擊を行ひつゝあり、し黃河以北一帶を目指して南へ〳〵と潰走する敵兵を追つて

滿洲國軍、北支殘敵を掃蕩

治安部調査課十二日發表＝盟邦日本皇軍と協力して滿洲國軍は北支方面に敗殘兵の掃蕩に努めつゝあるが、〇〇部隊の山田隊は十一時三十分趙川堡東南方八キロの小胡營に於て百名の敗殘兵と遭遇し約二時間交戰の後これを敗走せしめ、また同じく北平方面に於て石少將の率ゆる〇〇部隊も敗殘兵の討伐にあたりつゝあり、その士氣旺盛は日本軍からも賞讃されてゐる

粤漢鐵路爆破！

我が空軍の粤漢鐵路龍[illegible]北方鐵橋爆擊

各地に凱歌！海陸の爆擊隊

粤漢、平漢、正太各線
上海、南京にも猛爆擊

【香港十二日發國通】連日にわたり粤漢線空爆を敢行しつゝあるわが海軍航空部隊〇機は、十二日午前七時半銀翼を連ねて廣東上空に現れ、空襲サイレン鳴り響き高射砲轟く中を悠々示威飛行を行つたのち一路北上して粤漢線の要衝數ヶ所に爆擊を加へ大打擊を與へて歸還した

【上海十二日發國通】艦隊報道部十二日午前十時半發表＝海軍航空隊は陸軍作戰に協力、よくその前面の敵に對し反復猛擊中であるが、十一日も左記地點を空襲した

（一）粤漢鐵路 午前十一時頃滬江口一帶を爆擊（二）浙贛鐵路、玉山、金華驛構內および附近の鐵橋爆擊（三）南昌（四）蘇州停車場、嘉定、太倉の敵陣を爆擊（五）浦東側の爆擊 江南ドツク對岸電氣會社方面の敵密集部隊の爆擊

【上海十二日發國通】小倉、駒形、池田各中尉指揮の航空隊は十二日午前九時より三回に亘つて江灣、閘北、浦東附近の敵陣地に反復爆擊を加へ、殊に駒形中尉麾下の〇機は江灣鎭の砲陣と呼應して楊樹浦を射擊する浦東の敵野砲陣地に潰滅的打擊を與へた

【上海十二日發國通】十二日午後二時海軍航空隊一機は北四川路前面の敵陣地に猛烈な爆擊を敢行、爆彈炸裂の音轟々として天空にこだましてゐる

【上海十二日發國通】十二日午後四時中野少佐指揮の海軍航空隊〇機が南京上空に飛來するや、敵のノースロツプ十數機が挑戰し來つたので、わが荒鷲部隊はよき獲物とばかり地上よりの高射砲彈を潜つて敵機の中に突込み、四機を擊墜し一機は體當りをもつて擊墜した、殘る敵機はこの猛烈なわが攻勢に狼狽して逃走した、この壯烈な空中戰において木源一等航空兵曹は敵一機を擊墜し、さらに一機に體當りを喰はせ墜落せしめた、木源一等航空兵曹の愛機もこの空中白兵戰に傷ついたが、巧みに操縱し悠々僚機とゝもに無事歸還した

【〇〇根據地にて十二日發國通】平漢線上のわが皇軍の猛烈なる進擊に支那軍は次第に南下退却中であるが、わが空軍は十一日朝來全力をあげてこの敗退中の敵軍を攻擊すべく朝靄を衝いて出動した、中にも柴田部隊の〇〇機は連日の偵察爆擊にも何等疲勞の色なく全機をあげて午前八時半勇躍〇〇根據地を出發、柴田部隊長自ら陣頭に立つて全軍を指揮し退却中の敵列車を認め、午前十時元氏において一列車を、さらに十一時には高邑において四列車をまた高邑南方において一列車を發見、各編隊をもつて爆擊敵に多大の損害を與へた、なほ園田部隊の〇〇機もこれに引續き出動、午後二時郷柏、高邑において敵兵を滿載した列車を爆擊、これを完全に粉碎多大の效果を收めた、かくて戰局の進展と共に空軍の活動はいよ〳〵猛烈を加へつゝある

【〇〇十二日發國通】十二日午前九時四十分島田部隊の〇〇機は勇躍出動、太原南方正太鐵道、同蒲鐵道の分岐點としての要地楡次を爆擊、停車場及び停車中の軍用列車數ヶ列車を爆破し、交通機能を完全に蹂躪したが、さらに午後楡次東北方正太線上の壽陽及びその東方芹泉鎭兩驛ならびに鐵路を爆破、正太線遮斷の目的を達して歸還した

【〇〇十二日發國通】中富部隊の笹尾大尉の指揮する〇〇機は、十二日午後三時十五分平漢線上內邱を爆擊し、退却中の敵部隊に大打擊を與へ、さらにその東方堯山をも爆擊、南方に向け潰走中の敵の大部隊を粉碎した

【〇〇十二日發國通】冶河に沿うて續々南方に退却中の衛立煌軍二個師に對し、わが園田部隊の〇〇機は贊皇西方の山麓地區において友軍地上部隊に協力し果敢なる對地掃射を敢行したゝめ、敵は算を亂して續々西南方山岳地區へ向け潰走中である

大名飛行場に大打擊

【天津十二日發國通】わが航空部隊の森本部隊は十二日正午頃突如河北平原近くの大名飛行場を空爆、格納庫及び同倉庫內の敵機三、四機を爆破しさらに附近の新造格納庫數ヶ所にも爆彈を投下大打擊を與へた、格納庫は目下黒煙を上げて延燒中である、大名飛行場は河北における有力なる飛行根據地である

【天津十二日發國通】中平部隊の精鋭〇〇機は十二日午前十時頃衛昔北側の敵に對し猛烈な爆擊を行つた

德州城內に突入する我軍の精鋭

上海北部戰線各部隊
一齊に攻擊を開始

【羅店鎭十二日發國通】十二日午前八時半漸く雨は霽れたがなほ暗雲低くたれこめてゐる戰場に勢揃ひしたわが北部戰線各部隊は一齊に攻擊を開始、激戰の火蓋は切つて落された、敵は揚涇クリークを賴りに幅一間の鐵條網を張りめぐらし、必死の抵抗を試みつゝあるがわが空軍、步、砲の勇猛果敢なる奮戰には敵すべくもなく、正午近く早くも〇〇翼〇〇の一角に崩壞の色が見えた

浦東敵砲兵陣を攻擊

【上海十二日發國通】十二日午前五時頃より浦東側敵軍は迫擊砲ならびに機關銃をもつて虹口地區を攻擊し來つたので、わが江上艦艇は直ちにこれを反擊沈默せしめたが、地上部隊も午前十時頃より浦東の敵に砲擊を開始、海軍航空機の空爆と相俟つて敵に多大の損害を與へた

北四川路一帶に大部隊逆襲

【上海十二日發國通】淞滬鐵路以東北四川路一帶に對し敵は十一日夕刻より夜半にかけて大部隊による逆襲を試みきたり忽ちわが軍の反擊擊退するところとなつたが、今回の逆襲は新手の部隊とおぼしく主として手榴彈を使用し頑强なものがあつた、海軍は陸戰隊の邀擊と並行して敵逆襲部隊の根據地と思はれる鐵路管理局の堅固な建物を目標に今曉にかけ終夜砲擊を加へ同建物は蜂の巣のやうな彈痕をとゞめてゐる

加納部隊長戰死

【東京國通】十二日午後四時卅五分陸軍省發表＝上海戰線において奮戰中なりし加納部隊長は十月十一日優勢なる敵の守備する曹宅附近の堅固な陣地に對し率先陣頭に立つて軍刀を揮ひつゝ突擊を敢行し壯烈なる戰死を遂げたり、同部隊の士氣ます〳〵旺盛攻擊を續行中なり

・和知少尉負傷

【上海十二日發國通】降り續いた秋雨に苦しめられつゝあつた〇〇部隊は十一日久振りの快晴に勇躍前面の敵に猛攻擊を開始したが、敵も迫擊砲機關銃の猛射をもつて必死の防戰につとめ雨上りの泥濘の中を壯烈な白兵戰が展開されんとする午前十時十五分〇〇部隊和知少尉は前後左右に落下する迫擊砲彈の土煙を被りながら顏色一つ變へず、双眼鏡を手に敵狀偵察中の部隊長の身を案じた部下が「部隊長殿危いです」と走り寄つた一瞬前方約一米のところに炸裂した迫擊砲彈のため名譽の重傷を負ひその場に殪れた、この憎むべき敵彈のため傍らにあつた十數名の將士も同時に負傷した

東大黒河の敵殲滅
綏遠城指呼の間に迫る

【前白廟子十二日發國通】察哈爾作戰軍快速部隊の中島先遣隊は十一日前白廟子附近の支那騎兵部隊を包圍攻擊し、これに潰滅的打擊を與へ、さらに逃走する敵を急追し十二日午後四時四十分には綏遠東方一里半の東大黒河の支那陣に迫り、中島部隊の超威力砲および川村部隊の奇襲戰により同地の敵を潰滅し午後五時廿分同地を完全に占領し綏遠城の膝下に日章旗を翻へした

【前白廟子十二日發國通】道盛部隊は十二日拂曉綏遠東南方四里の前白廟子に支那軍騎兵大部隊のあるを知り、その快速と精鋭火器をもつて前白廟子を包圍し、堅陣に據る十數倍の支那軍を奇襲し、堂上大尉以下拔刀して土塀を乘越え敵陣に躍りこみ壯烈なる白兵戰の後、約七百の敵騎兵部隊を潰滅した、前白廟子の內外は堂上部隊の銃砲彈のため倒された支那兵及び騎馬の死體が多數算を亂して激戰の跡を物語り、部落は敵が逃走に際し放火したゝめ各所に火災を起し、火焔天に沖して物凄い光景を呈してゐる、堂上部隊はさらに勇躍東大黒河の線に進擊し、目下敵陣に向つて猛擊を加へつゝある、この日綏遠山嶽地帶は降雪しきりにして氣溫は零下十度でめざす綏遠城を指呼の間に臨んで皇軍精鋭將士の士氣はいよ〳〵旺んである

軍司令部發表

【天津十二日發國通】天津軍司令部十二日午後四時廿分發表＝一、鯉登部隊は十二日朝來西方に向ひ追擊中にして、午前八時井陘の西方三里莊頭附近に進出せり　二、石黒、坂西部隊は元氏附近の敵を、神田、猪木兩部隊は趙州南方水流の線にある敵を十二日朝來攻擊中なり　三、敵は平漢線、正太線に沿ひ地區を退却中にしてわが飛行隊は內邱、堯山（平漢線方面）楡次、壽陽（正太線方面）を爆擊せり　四、戰場一帶は天氣快晴なり

【天津十二日發國通】天津軍司令部午後五時半發表＝坂西石黒兩部隊は十二日正午元氏附近の敵を擊破、神田、猪木兩部隊は午後一時頃趙州南方の敵を擊破、敵を追擊中

北平、北京と改稱

【北平十二日發國通】北平市自治會は十二日正午から常務委員會を開催し「北平市」の名稱を「北京」と改稱し十三日から實施することに決定した、よつて今後は從來北平の名稱を冠したすべてに北京の名稱を冠すると共に、南京政府が國黨の名に因んで名付けた黨部街、中山路の町名も廢止することになつた、北京の名稱は數百年來言ひなれた東洋文化を表現する意味深き字義を含む雅やかな名稱だが、民國十七年南京政府が南京を首都とするために北平と改稱せしめたものである、なほ當地官民各方面では印鑑、看板等の刷り替へ塗り替へで轉手古舞である

軍人龜鑑
三勇士表彰さる

【旗艦〇〇にて十二日發國通】八月十七日上海北停車場附近を爆擊し不幸敵彈にあたり浦東側スタンダード・オイル・コムパニーの空地に不時着し機宜の處置を講じて危地を脱した金田兵曹長、諸田、松村兩兵曹の善行表彰が軍艦〇〇より十二日午前第〇艦隊司令部に報告された

▲善行表彰

海軍航空兵曹長 金田吉一
海軍二等航空兵曹 諸田外男
海軍三等航空兵曹 松村春一

右の者昭和十二年八月十七日午後上海北停車場及び商務印書館爆擊の命を受け艦上〇〇機に搭乘し午後四時五十分北停車場を再三再四爆擊し遂に附近列車砲を粉碎したる後商務印書館上空に差かゝるや敵高射砲らしきものゝ射擊を受け[illegible]熱氣を破壞せられたり、金田兵曹長は諸田兵曹に命じ故障機を操縱して上海租界附近に着陸を企圖せしも意の如くならず、既に發動機停止し午後六時五分辛うじて公大對岸の浦東側スタンダード石油會社ゴルフリンクに着陸するの已むなきに至れり、着陸に際し機は圍垣に擊突し大破し松村兵曹は負傷せるも相携へて機上を脱し群る暴民に機銃及び拳銃をもつて威嚇射擊を行ひつゝ悠々暗號書とゝもに愛機を完全に燒却せり、爾後暴民等と對峙すること約二時間、日沒に乘じ危地を脱し黃浦江岸に出で極力艦艇を物色し遂に支那小舟を得これに乘船せんとする折柄〇〇の內火艇に救助せらるゝに至れり
右の措置は危機に至りて頗る沈着なるのみならず、注意周到敵地不時着の搭乘員として間然する處なし、寔に軍人の模範として推奨するに足る

〇〇艦長海軍大佐 草鹿龍三郎

敵戰鬪機射落す

【原平十二日發國通】十二日午前九時四十分頃敵戰鬪機四機は、わが〇〇部隊の上空に現はれたが、わが地上部隊は一齊に敵機に高射砲をあびせかけ內一機を墜落させ、その際敵機は南方に逃走した、三機はわが軍に爆彈數個を投下したが、わが方の損害は輕微である

藤田部隊土橋街で敵軍を擊退

【天津十二日發國通】藤田部隊は十二日午前九時頃德州西南方三里の土橋街において兵力未詳の敵部隊と遭遇、交戰一時間の後これを擊退し目下追擊中であるが、右は德州占領後最初の戰鬪である

英大使館自動車又擊たる

【上海十二日發國通至急報】十二日午後四時頃閔行（上海南方十四哩）において英國大使館の自動車三臺は、飛行機より機關銃の射擊をうけた

【上海十二日發國通至急報】飛行機の射擊をうけた英國大使館自動車に乘車してゐた航空武官補佐官エス・エス・マレー氏は何等の被害なく、其他の搭乘者にも異狀なかつた

【上海十二日發國通】機上射擊を受けた英國大使館の自動車は南京より上海に向ふ途中にあつたもので、飛行機は六機であつた

丸茂大連市長

丸茂大連市長は十二日午後六時廿分着あじあで大連より來京した

長田警部赴任

州廳警察部保安課に榮轉の新京署長田警部は十四日午前十時發はとで赴任する

人事往來

▲池田正之輔氏（司法省官吏）十二日來京ヤマトホテル
▲吉野淑計氏（官吏）同
▲高橋誠一氏（大林組）同國都ホテル
▲上崎龍次郎氏（阿波共同汽船）同
▲岩下文雄氏（東京電氣）同
▲鹽見宗次氏（琿春鐵道取締役）同 都ホテル
▲又重武雄氏（ハイラル種馬場）同

近衞內閣は組閣當時の計畫通り內閣參議を設置することに決定それ〴〵人選も決定した▼最初は各方面の摩擦緩和をはかるための內閣の補强工作の積りであつたのが▼支那事變によりそれは完全に解消して擧國一致長期難局打開の重要機關となつて現はれたことは當然と云へる▼從つてその人物も軍、政、財界の代表と目される一流人物を▼巧みにピツクアツプしたる點は今までの型破りで▼時局がそうさせたと云へばそれまでだが首相の英斷の程が窺はれる▼われ〳〵はその位置についた人々の前官肩書ではなく眞の働きに多大の期待をかけるものだ▼支那軍の財布の口を握つてゐる財政部長の孔祥熙は▼未だ祖國の土も踏まない先から休戰に應ずる用意ありと泣言を洩らしてゐる▼蔣介石が如何に喉をからして長期抗日戰を叫んで見てもこれぢや話になるまい

社説　北支情勢の進展

一

去る十日の石家莊占領によつて、わが北支作戰には一段階が劃されることゝなつた。もはや支那軍の黄河以北に於ける作戰は全く失敗に歸するに至つたのである。北支に在る支那軍の士氣が沮喪しその戰意が消磨したであらうことは疑ひを容れない。今や山西省は全く死命を制せられ、黄河流域へのわが軍前進の可能性は大いに増大するに至つた。かゝる戰局の展開に際會してわれ／＼はひとへに第一戰將士の努力に對して感謝せざるを得ないとゝもに、また今後に於ける事態收束の方途に關して思ひを致さゞるを得ない。

二

思へば、日本が東洋安定のための現實に即した手段をとらざるを得なかつたのは、眞に已むを得ずしてゞあつたのである。知らるゝ如く、はじめから斯のやうな手段を好んだのではなかつた。現地解決、不擴大方針といふものが普遍的な念願であつたのである。しかし事態は、その日本の方針と逆行した。實際において、已むを得ず、日本は斷乎たる決心に出るほかは無かつた。そしてその後の事實の證するところによつて明らかなやうに、この已むを得ずして斷乎たる決心に出たことが實際に最も現實に即する有效手段であつたことが判るのである。故にそれは、眞に東洋平和を熱望するがための大勇猛心を振つての大乘的手段であつたと言ひ得るのである。この大乘的手段こそ武力に訴へても正義を押し通し、正義の基礎に立つところの東洋安定を導き出す方途たるものである。これまで安定が出來なかつたのは、平和を破壊する不安の原因が存したからである。かゝる在來の不安の原因を潰滅せしめることこそがわが用兵の目的なのである。

三

不安の最大原因となつたものは、蔣政權がその擴大強化のためにとり來つた日本敵對の政策であつた。日本に對する敵意を利用してあらゆる政策遂行の推進力としたのであつた。日本を敵とすることによつて國民思想の歸一を圖り自己政權確立の道具としてゐた。これらのものが不安の根源であつた。故に北支の今後について考へる場合、そこにいかなる狀態がつくり出されねばならぬかの大綱はすでに明白なものがある。そしてそのやうにして北支に新情勢がつくり出されるとき、それは必ずや中支、南支へ、大きな影響を與へずには置かぬであらう。この事を考ふるとき、いま北支作戰上に一段階が劃されるに至つたことの意義は極めて大きいのである。そしてそれ故に、今後のわが全北支政策の推進に周到の用意と積極的な協力とが緊要であることを强調せねばならぬ。

日伊通商協定　兩者の意見一致
近く内容發表されん

【東京國通】支那事變に關しイタリー政府はドイツ政府とゝもに當初よりわが行動を全幅的に是認支持し絶對の好意を寄せてゐるが、かねてローマにおいて交渉中の日伊通商協定に關し兩者の意見が全く一致したので近くその内容の發表を見る段取りとなつた、かくして帝國は獨伊兩國とのよりよき諒解裡にますく複雜を豫想される國際政局に一層力强い歩みを續けることゝなつた

イタリー飛行將校は　支那軍から手をひけ
―ムソリーニ首相電命す―

【ローマ十一日發國通】獨伊兩國政府は支那事變に對し列國が擧つて反日的態度をとつてゐる中にあつて防共の大義に則り斷然日本を支持してゐるが、A・P通信社ローマ支局が信ずべき情報として傳へるところによれば、ムソリーニ首相はヒトラー總統との會見の結果に基きローマに歸還するや直ちに支那軍顧問イタリー飛行將校に對し支那軍援助を中止するよう電命したといはれる、現在支那にはシルビオ・スカローニ大佐を主班とするイタリーの飛行家七十五名がドイツ退役將校百名とゝもに中央軍の技術的指導に當つてゐるが、これが全部支那から手をひけばすでに潰滅に瀕してゐる支那軍にとつては將に徹底的打擊だらうとみられる

中立政策からの　逸脱を意味せず
ル大統領演説に對し側近者談

【ワシントン十一日發國通】ル大統領は十二日午後九時半から談話を全國に放送する筈であるが、これを機會にシカゴにおける演説が意外に輿論を刺戟したのに鑑み、現下の國際情勢に對する米國外交の根本方針を闡明誤解の一掃につとめる意向とみられ、これに先立ちル大統領の一側近者はシカゴ演説は決して從來の中立政策からの逸脱を意味するものでないと强調し左の如く語つた

シカゴ演説は米國が他國の政策に乘ぜられ國外紛爭に捲込まれるのを防止せんとする動機に出たもので、たゞ戰爭防止のため他國が如何なる對策を考慮してゐるかを打診したに過ぎない、ル大統領は斷じてウイルソン主義者ではない、大統領の演説は意外の印象を與へてゐるが、現政權の外交政策の根幹であり一般國民の支持を受けてゐる中立孤立政策から大してはづれてはゐない、米國は他のデモクラシー國家が對策を決定する前に先走つて決定を行ふやうなことはない、ましてイニシアチヴを採るやうなことは絶對にあり得ないことだ、大統領は現實主義者だから一國のなすべき行動の限界を熟知してをり、持たざる國の立場にも理解を持つてゐる、隨つて米國の權益を保護するために米國が戰爭するなどゝいふのは馬鹿げた話だ、米國に英國や支那を救濟する責任はない、ル大統領は戰爭ではデモクラシーを救濟出來ぬとの世界大戰の教訓を忘れてはゐない

德州に早やくも　治安維持會成立
住民は心から皇軍に信賴

【德州十二日發國通】戰禍漸く去つた德州城には再びもとの平和な姿がよみがへり、城内住民は續々歸還して各戸に日章旗を掲げて皇軍を歡迎してをり、早くも治安維持會が成立し、避難民の救濟や市街淸掃が積極的に開始された、紅卍字會には約四百におよぶ避難民の婦女子が收容され施米や施服をうけて皇軍の慈愛に心から感謝してゐる、抗日ビラもすつかり取片けられ、市内各所には新しい親日ビラが貼られ、商店は商ひをはじめ、城内住民はいづれも皇軍の嚴格な軍規に安堵しきつてをり、德州は更生の一歩を踏み出したのだ

市民日の丸を打振り　皇軍の入城歡迎
―平和甦る晩秋の石家莊―

【石家莊十二日國通特派員發】記者は十一日正定驛より徒歩で石家莊に入つた、わが軍占領後とはいへ滹沱河の鐵橋が破壞されてゐて石家莊にはまだ列車が入つてゐない、わが軍の入城と共に城内各所に貼られた抗日ポスターは直ちに剝ぎとられ、早くも平和の色が街の隅々までたゞよいはじめた、石家莊は正太鐵道の分岐點で城壁のない近代都市だけに驛附近には西洋風の建築多く主要道路は石で舗裝されてゐるが、さすがに商店街はさびしい、市民は案外平氣で日の丸の旗を打ち振りながら悠々として歩いてゐる、自動車や人力車が通りこれが昨日まで戰亂の町であつたとはどうしても思へない秋には珍らしく曇天でどんよりとした空模樣で汽車のない驛に警備兵の銃劍のみが無氣味にきらめいてゐる

滿洲金融組合　關東州側と分離
行政權移讓に備へ臨時總會で決定

滿洲金融組合聯合會は十二日午前十時より關東局三階會議室に於て臨時總會を開催、各組合長及理事等四十餘名が出席三浦司政部長一場の挨拶の後橋理事長議長となつて議事を進行、滿洲金融組合聯合會分離に關する件外議案を議決正午閉會した、今回の臨時總會は行政權移讓に伴つて南滿洲鐵道附屬地側金融組合（十四組合）が滿洲國に移管されるに先立つて關東州側金融組合（八組合）と分離各々を獨立組織の上移讓に備へ支障なからしめんとして開催されたもので會議の結果關東州側を「關東州金融組合聯合會」と稱し附屬地側を「滿洲金融組合聯合會」と名稱決定、從來の一つの金融調整機關を二つに分離してそれ／＼十一月一日を以て實施すると共にそれに伴ふ定款變更、債權、債務財產讓與の細目につき協議議決されたものである

英汽船觀音崎燈臺沖合で坐礁

【東京國通】十二日午前七時半頃英國汽船バンクライン會社所屬インバアバンク（二、一四九噸）は濃霧のため針路を誤り神奈川縣浦賀町觀音崎燈臺三百五十米沖合で坐礁、滿潮を利用しても離洲出來ない旨横濱拔店ドットウエル商會に入電があつた、同船の乘組員は船長アルバート・チャールス氏以下英國人卅四名で去る十日岩手縣釜石港に石材を荷揚して給油のため横濱入港の途中遭難したもので積載貨物なし

バ群島占據をも　敢て辭せぬ
佛外務當局談

【パリ十一日發國通】ショータン首相は十一日午後デルボス外相との會見に引續き國防關係閣僚を交へて地中海問題を中心に軍事的見地からフランス政府のとるべき態度につき重要協議をとげたが、會議散會後外務當局はバレアリック群島の占據をも辭せぬ旨左の如く語つた

今日の會議ではスペイン政府の窮極的利益のため英佛兩國軍で一時バレアリック群島を占據する場合の對策につき種々檢討をとげた事は事實だ、しかし英佛兩國政府はかゝる占據を敢へてする前にまづイタリー義勇軍をバレアリック群島から撤收させるためあらゆる努力を傾倒することにならう

ソ聯肅正工作
商業航空界に波及

【モスクワ十一日發國通】APモスクワ支局の報道によれば、スターリン政權の肅正工作は商業航空界にも波及し、商業航空局長イワン・ツカチヨフ氏は曩に飛行作業の防害機體破壞および故意に事故を惹起した廉によりシベリヤ、タジックスタン、カザックスタン各地方の航空士、機關士技師等廿二名を罷免したが、十一日更に商業航空局次長ヨッフエならびに同飛行機製作部長スパスキイを罷免したと傳へられる

冀東地區に　鮮農安全農村
初年度三百戸を移植

【京城國通】事變を契機として北支における鮮農の土着化を目的として總督府は東拓と協力、冀東地域内に安全農村を設定することゝなり目下具體案を練つてゐるが、十三日土地改良課得納技師、東拓より岸本、近藤兩技師が同地に乘り込み、安全農村土地買收および調査を開始することゝなつたが、初年度の移植農家は三百戸の豫定である

天津縣代表から　寺内大將に　記念品贈呈

【天津十二日發國通】天津縣全縣民衆代表は皇軍の德政に感謝の意を表するため、十二日正午寺内大將以下に萬年傘扇額等を贈呈した

手向けの野花祭壇に　陣歿將士慰靈祭
德州練兵場で嚴肅に執行

【德州十二日發國通】津浦線に征師を進めてより二ケ月、この間護國の鬼と化した陣歿將士の慰靈祭は十二日午前十時より德州練兵場において嚴かに執行された、この日秋空高く晴れわたり練兵場の北端に設けられた祭壇には戰友の心ばかりの野花、キャラメル等を持寄つて祭壇を飾り亡き勇士の靈を慰めてゐる、酷暑を冒し泥濘を渡り塹壕を飛越へ砲煙彈雨の中にともに御國のために戰つた戰友といま最期の別れだ、國の鎭めの嚠喨たるラッパの音がヒシヒシと胸を打ち音吐朗々〇〇部隊長が祭壇に立つて英靈を送る弔辭を讀めば滿場寂として聲なく、部下の兵士を失つた居並ぶ部隊長の顏には言ひ知れぬ淋しさが漂つてゐる、かくして同十一時捧銃の號令一下訣別のラッパ吹奏裡に嚴肅な慰靈祭を終つたのである

支那軍の物資　缺乏深刻化す
全線軍隊戰意を喪失

【上海十二日發國通】深刻な食料不足の上に連日の秋雨で支那軍には病人續出、いよいよ戰意を喪失してゐるが、十二日の支那紙にも

全線將士には雨衣が無いから國民から雨衣を寄贈され度い

と悲鳴をあげてゐる、過般の綿衣州萬着の强制寄贈とゝもに支那市民はさらに負擔を課せられる譯であるが、これは支那軍の物資不足を物語るものとして物の哀れを止めてゐる

東京市吏員　武運長久祈願式擧行

【東京國通】國を擧げて十三日から行はれる國民精神總動員强調週間を前に東京市では十二日武運長久祈願式を擧行した、午前七時四萬五千名の吏員を代表した局、課長、區長等百五十名は明治神宮において莊嚴な祈願式を行ひ、在支將兵の武運長久を祈願したのち、それより直ちに第二會場日比谷公會堂に赴き同會場に參集した吏員三千名を合して市吏員宣誓式を擧行した

資源調査法　參議府會議通過

十二日の定例參議府會議は午前十時より開催、資源調査法を上程可決した、同法は十四日公布の筈

商況欄（十二日後場）

株式相場

大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一八、六〇	—
東新	一二一、七〇	—
豆新	六六、五〇	—
滿鐵新	[illegible]	—
日新	[illegible]	—
土木新	一二、八〇	—
日新	四九、八〇	—

奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
東新	一四三、〇〇	一四三、五〇
大新	七九、五〇	八〇、一〇
日新	六六、八〇	六六、八〇
同新	五〇、〇〇	—
五品新	—	—
豆鐵新	—	—
滿新	二三〇、〇〇	—
日毛	—	—
電業	五九、七〇	—
化學	—	—

新京取引市況（十二日後場）

現物寄引

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
十月限	五、八六	五、九二	元車
十一月限	五、八八	五、九〇	六車
十二月限	—	—	—

手形交換高（十三日）

七七枚　三八〇、四八一、八五〇

鮮魚小賣相場（十月十二日）

品名	最高	最低
活鯛	一、〇〇	四六
小レンコ	四〇	二七
中小鯛	…	…
白アマ	…	…
カスゴ	三〇	二四
チヌ鯛	…	…
オニエビ	…	…
車エビ	七五	…
小アジ	二七	…
小エビ	五〇	四五
ヨコワ	…	…
中小エビ	…	…
小スマ	五〇	四五
ブリ	二四	二二
ヤズ	一六	一五
ヒラス	二四	一五
イトイリ	…	…
トアジ	一八	…
マナ	…	…
マス	…	…
サケ	…	…
サワラ	二四	一六
平ザワラ	…	…
イカケ	…	…
ムアジ	…	…
スズキ	六一	…
小アジ	二七	…
ニベ	二〇	…
アジ	一六	一三
サ[illegible]	二七	…
ギザミ	…	…
赤ムツ	一三	…
アコウ	…	…
メバル	二一	…
アブラメ	…	…
ガラ	…	…
タコ	二五	一〇
紋甲イカ	四二	三〇
甲イカ	二七	二一
松イカ	…	…
水イカ	三八	三〇
飯蛸	二一	…
二番イカ	…	…
ヒラメ	三四	二七
小市	一三	…
イワシ	…	…
グチ	一六	一五
コノシロ	一六	一〇
ツナシ	…	…
コチ	一六	…
ハゲ	…	…
太刀魚	一一	七
キス	三〇	八
サヨリ	二〇	一六
アナゴ	五〇	一
ハモ	三八	二一
ハゼ	…	…
白魚	…	…
ウナギ	…	…
アワビ	三三	二七
[illegible]イワシ	…	…
オ[illegible]バ	一七	一六
黒生子	…	…
カニ	二一	八
貝柱	三六	…
蜆貝	…	…
赤貝	…	…
カマボコ	…	…

（切り身相場）

品名	最高	最低
鮪	六〇	二五
ヨコワ	…	…
メジロ	…	…
ブリ	四〇	三五
サ[illegible]イ	五五	四五
ヒラス	四五	三六
サワラ	四〇	三五
平サワラ	…	…

無駄紙廢止（紙の節約）獻金運動・標語募集

無駄紙廢止獻金運動

（主旨）國民精神總動員運動の一つとして非常時の國家資源中最重要品の一にして其原料の大半を外國に仰ぐ紙の節約運動を廣く全國的に行はんとす抑國民精神總動員運動は其の實踐方法にありては種々なる形態をとりて現はれ來る可き所なるも消費經濟に直接重要なる關係を有する者は卒先して消費經濟の非常時順應性を唱導し以て之れを實踐するの義務ありと確信し其の第一着手として無駄紙廢止運動を自ら行ふと共に廣く之れが國民運動として全國民に徹底實踐せられんことを希ふものである。自らの財源を國家に獻納することは寔に立派なる行爲であると共に國家の有する資源を例へ紙一枚たりとも無駄に消費することなく國家資源を確保するの道を講ずるも之れ又國家に對する立派なる御奉公である非常時に於ては國民は特に國家資源の確保を徹底的に行ふ責務がある現在國民の文化生活に最重要なる紙は其の材料の大半を外國から仰ひでゐる以上無駄紙廢止運動を起す所以である而して此の無駄紙の廢止によりて得たる剩餘金は之れを國防恤兵金として獻納すともものである一枚の無駄紙廢止から始まる此の運動が直に以て他の夫々の形態をとつた國民精神總動員運動の實踐となつて現れ來ることを希ひつつ此の運動に全國民が協力參加せられんことを切望する

標語募集要領

句數……一人三句迄官製ハガキを用ひ住所氏名を明記のこと（日滿語何れにても可）

締切……昭和十二年十月二十日

宛先……本運動參加左記各組合各百貨店

賞金……一等　日滿語各一句　貳拾圓宛
二等　日滿語各二句　拾圓宛
三等　日滿語各三句　五圓宛
佳作　日滿語各五句　壹圓宛

審査員
滿洲帝國協和會指導部長　古海忠之氏
國務院監察官　植田貢太郎氏
新京商工會議所會頭　石崎廣次郎氏
大日本帝國國防婦人會新京支部長　凪野夫人
滿洲帝國國防婦女會本部長　韓玉淑貞夫人

發表……昭和十二年十一月十日

（イロハ順）
ニツケギヤラリー……輸入百貨店
寶山百貨店　新京百貨店
金泰洋行　三中井百貨店

滿鐵社員消費組合
滿洲國官吏消費組合各

滿洲國の緬羊增殖と各種獸疫の撲滅（四）

滿鐵産業部囑託　井島重保

畜産經濟上重大なる損害を與ふる恐るべき獸疫に就て

牛疫　本疫は專ら牛を冒かす疫病にして、數百年來、亞細亞、歐羅巴に發生し、現在に於ては阿非利加、中央亞細亞に流行し又東部歐洲（バルカン半島、南部ロシヤ）支那、滿洲國、内外蒙古、朝鮮等に發生す、緬羊、山羊に感染せしめ得べく駱駝、水牛等にも傳染す

▲牛ペスト▼

本病に、家畜傳染病中の王とも稱すべきものにして一名牛ペストと云ひ、世界各國を通じて法定家畜傳染病の第一に掲げあるに徴するも如何に本病の恐るべきかを物語るものなり、即ち其傳播力は極めて猛烈にして到底人類のペストの比に非らず、一度發生するや一氣に數百萬乃至數千萬頭の畜牛を斃さざれば熄まず其慘害の激甚たるや想像も及ばざる所なり

▲歐洲の畜牛大慘害▼

十八－九世紀の頃、歐羅巴に於て屢々本症の大流行ありこれが爲め當時歐洲に於ける畜牛は全滅に瀕せる歷史あり、從つて各國は牛疫を恐ること甚しく歐洲に於ては一度隣邦に本症の發生せるを聞かば軍隊の力を借りて之れが國内への侵入防止に努めたることあり、即ち一八三一年コレラが露西亞へ侵入せし際に於ては數萬の武裝兵を以てピーターブルグを防衛したる事例に徴しても明かなり、我國に於ては、幸にも斯の如き激甚なる慘害を受けたることはなきも、明治の初年に於て西伯利亞、支那、朝鮮等より侵入せし牛疫の爲め散々苦杯を嘗めたる經驗を有す、之れに依つて刺戟せられたる結果、我國は獸醫警察制度の急速なる發達を促せり、而して今日我國に於ける獸醫、畜産法制並に其教育機關の完備せることは歐米先進國に比し何等遜色なき程度迄發達せるは實に其出發點を本疫の流行に起因せりと謂ふも過言に非らざるなり

▲滿蒙に於ける牛疫▼

然るに此恐るべき牛疫は現今尚滿蒙の各地に常在し廣漠たる地域を轉々流行して之れに依つて斃れたる牛の白骨、累々たるもの數里に亘れるを見たること屢々ありと報ぜられ、畜産事業に不斷の脅威を與へつゝあり

即ち、最近の調査に基く本疫の分布流行の狀態を概觀するに内蒙古は本疫流行の中心なるが爲め海拉爾地方に於ては近年も頻々其流行を見つゝあり

▲滿蒙に於ける牛疫の流行狀態▼

康德三年（昭和十一年）一月より三月迄の間に察哈爾より熱河省へ此病毒が侵入し又多倫より圍城縣に、沽源より豐寧縣に侵入して二千數百頭を斃せりと言ふ、又、同年四月哈爾濱、安達、滿溝等に於ても發生し又五月には王爺廟に大流行を來たせる事實あり斯の如く、滿蒙の隨所に發生する牛疫は、其接壤地たる朝鮮の畜産を脅かすは明らかにして大正十四年滿鮮國境を侵かせし場合の如き本疫は咸鏡平安の各南北兩道に跨りて大流行を來たし莫大なる損害を及ぼしたり、之れが爲め朝鮮總督府は釜山に獸疫血清製造所を設立し毎年約三十萬圓の豫算を以て之れが免疫血清豫防液を作り、或は巨額の國帑を費やして國境牛疫免疫地帶の設定並に檢疫豫防を實施し、本疫の侵入防止に懸命の努力を拂ひつゝある現狀なり

▲牛疫は滿蒙畜産業に對する爆彈▼

要するに、本疫は滿蒙畜産業に於ける爆彈とも稱すべく我國の畜産保健自衛上は勿論文化産業開發上一日も忽せにすべからざるものにして、速かに之れが驅逐絶滅を必要とするものなり、然らば牛疫の絶滅驅除法は如何、幸なる哉本疫に對しては柄崎博士の世界的發明に係る豫防液、免疫血清あり、本品は極めて有効にして治療の効果は勿論、長期に亙る（一年餘）免疫性を賦與するものなり

故に、此恐るべき傳染源地たる内蒙古との牛疫免疫地帶の設置及び滿洲國内に於ける檢診機關の發達、豫防接種等の實施をして速かに徹底の域に至らしむれば滿蒙の牛疫も亦自から制遏せられ畜産業百年の禍根を絶つの日を期し得べしと信ず

牛肺疫　牛の傳染病にして、牛疫の如く急性ならざるを以て感染及び發病の歸轉不明なる場合多く、從つて牛に取りては結核よりも更に恐るべき疫病にして一旦、本疫の侵襲を受けし地方は執拗に其病毒を以て汚染せらるゝ傾向あり

▲朝鮮より牛肺疫内地へ移入▼

我國に於ては、曾つて本疫を見ざりしも大正十四年の春始めて元山よりの移入牛に依りて内地へ侵入せられ關西、中國地方に流行し次で翌年廣島、福岡に發生流行を見たる恐慌を來たせしことは當時の記錄に明らかなり、之れが爲め政府は農林省令を以て朝鮮牛の内地移入を禁止するの非常手段を取りたる結果重要産物たる畜牛の販路を絶たれる朝鮮の損害たるや甚だしきものありしを以て内地と朝鮮の當局者間に重大なる紛糾を惹起せしことあり

▲滿蒙は牛肺疫の常在地▼

而して、本疫も亦、元來滿蒙常在の獸疫にして其禍根は滿蒙の地にあり、朝鮮は單に本疫の一侵襲經路たるに過ぎざるものなり、而して本疫に關し其疫學的關係の複雜にして將來研究を要する點の多きを認む

本疫に關する畜産衞生の研究は産業上の見地よりする時は、結核以上に恐るべきものにして、殊に其診斷法即ち病牛檢出は前記疫學的研究と相俟つて將來十分なる研究を要する處なり

況んや、衞生施設機械の完備せざる滿蒙に於ては、本疫が浸々として瀰漫し其暴威を逞しくしつゝある現狀に鑑み其將來を想ふ時は、本疫研究の要實に切實なるものあるを覺ゆ

牛の傳染性流産とバング菌

バング氏流産菌即ちブルセラアボータス・バングは主として牛の傳染病なるも時としては緬羊、山羊、馬等にも感染して流産を起し、又人に感染して發病レマルタ熱（即ちブルセラ・メンテリシス菌に依る）と略々類似の病狀を呈するものなり

我國に於ても、二十餘年來各地に於て乳牛の間に本菌に依る傳染性流産の發生を見つゝあり、本病が牛に及ばす損害の大なるに鑑み、我政府は多大の注意を拂ひ居れり

▲バング流産蒙古牛群に發生す▼

先年、滿鐵沿線の一二の都市に於ける乳牛中に確實なるバング流産を認めたるも蒙古牛群に發生したることは未だ耳にせざりしも昭和十一年の春、興安省王爺廟附近の押木營子に於ける滿鐵農事試驗場分場に飼育中の牛群にバング流産を續出し、更に他の地方に於ける放牧牛群にも本流産菌の蔓延し居ることを發見したり、而して押木營子農場員並に從業員に數名の罹患者を出せり

緬羊の傳染性流産菌が人に感染するときは、多くは惡性の經過を取れるにも拘らず牛の傳染性流産菌に侵されたる人は極めて輕微なりと報ぜらる

何れにしても本病は畜産上に多大の損害を與ふるものなるを以て徹底的の驅除並に豫防を必要とする

新學制の施行に伴ふ各種部令を公布

□……明年一月一日より實施

新學制施行に伴ふ學校規程は十一日公布され康德五年一月一日より實施されることゝなつたが、これと同時に民生部大臣は教學に關する各種部令を左の如く公布した

△初等教育における國民科の教授に關する件

特別市長又は縣旗市長は地方の事情に因りやむを得ざる場合は初等教育における國民科の教授に關し國民優級學校規程第九條、國民學校規程第九條又は國民義塾規程第十一條の規定に拘らず左の例によることを得

一、日語による教授の時間の全部において滿語、蒙古語朝鮮語若くは俄語により教授し又はその一部において滿語、蒙古語、朝鮮語若くは俄語によつて教授し殘餘の時間を他の學科目の教授に充つることを得

二、滿語による教授の時間の全部において蒙古語、朝鮮語又は俄語により教授することを得

三、蒙古語による教授の時間の全部において滿語、朝鮮語又は俄語により教授することを得

附　則

本令は康德五年一月一日より之を施行す

△國民高等學校の國語教授に關する件

省長又は特別市長は地方の事情に因りやむを得ざる場合においては當分の間國民高等學校規定第四條の規定に拘らず民生部大臣の認可を經て左の措置を講ずることを得

一、滿語の教授を止めその教授時數は日本語の教授時數を增加してこれに充て又は滿語に代へ蒙古語若くは俄語を教授せしむること

二、蒙古語の教授を止めその教授時數は日本語の教授時數を增加してこれに充て又は蒙古語に代へ滿語若くは俄語を教授せしむることを得

前各號の場合において使用せしむる教科書は民生部大臣の著作權を有するもの又はその檢定したるものにつき省長又は特別市長これを採定すべし

附　則

本令は康德五年一月一日より施行す

この外左の部令が公布された

一、公學校を編したる國民優級學校および國民學校の學科目ならびにその毎週教授總時間數及び教科書に關する件（康德五年一月一日施行）

一、師道學校に編入せられたる高級師範學校學生に對する學科目ならびにその毎週教授總時間數および教科書に關する件（康德五年一月一日施行）

なほ

一、公學校の學生たりし者に對する初等教育の學科目および教科書に關する件

についても民生部より指示するところあつた

新機軸を含む　新學制運用規程

◇・◇・◇・◇

民生部では去る五月二日の訪日宣詔記念日をトし公布し、明年一月一日より實施することゝなつた新學制の運用の圓滑を期するため、今回民生部令をもつて左の諸規程を公布した、右につき當局では左の如く語る

新學制施行に伴ふ諸規程を大別すれば

一、國民學校より國民高等學校に至る各種學校につきその教則、設置、廢止、學科課程、教科書、編成、學年學期休日、設備入退學、授業料及びその監督等に關する規程

二、初等及び中等教師の資格進退職務及び給與等に關する規程

三、私立學校の監督に關する規程

四、各學校卒業程度學力檢定等に關する規程

等に要約される、しかしてこれ等諸規程の立案に當り教育司において最も重點を置いたところは

一、建國精神を明徴にし日滿一德一心不可分の關係を深く學生をして體認せしめること

二、國民生活上有用適切なる實務教育を授け國民教育が國民生活を遊離するが如きことを極力避けたことであつて、就中第二項の國民教育の實務教育主義は新興滿洲國の試みた新機軸である すなはち全國の國民高等學校百十八校は

農科	六十四校
工科	十二校
商科	二十一校
水産科	一校
商船	一校

となつてをり、又暑中休暇はこれを全廢し實習教育にあてることゝなつた

なほ今回公布された諸規程の内容については努めて伸縮融通性を持たせこれ等の諸程規が徒らに教育界の現狀に對する桎梏となるやうなことを避けてゐる

黄色煙草　第二次收量豫測

康德四年度黄色煙草作付面積ならびに收量豫測高は華煙草增産計畫に基く當局の各細煙草栽培組合に對する積極的保護助成と氣候順調に惠まれて第一次調査における七月末現在は作付面積二、三五五、五陌、收量九〇四、三四〇貫と昨年度栽培數量に比較しそれぞれ五七六、三陌、二四八、二六四貫の增加であるが、其後南滿一帶を襲つた豪雨のため大體一割弱の被害減收の見込みの下に正確なる第二次調査を急ぎこの程集計を終つたが第二次調査による九月末現在收量豫測高及び第一次豫測高との比較は左の如し

	收量	比較×印減
△安東省		
鳳城	六〇、九九〇	×二六、九二〇
寬甸	二七、〇〇〇	—
岫巖	一、五〇〇	—
計	八九、四九〇	×二六、九二〇
△奉天省		
鞍山	四〇、六三六	×二、六〇四
復	一二〇、〇〇〇	×二四、〇〇〇
海城	九、〇六三	×三、九三八
蓋平	一〇、六七五	×九一五
海龍	六、三三八	×一、五八二
計	一七六、一〇一	×三三、〇九九
△錦州省		
錦	九、三九四	×二、六〇六
興城	一二、六六二	×九一八
黑山	八、五五六	×四〇四
朝陽	一、五四三	四六三
錦西	四六八	×九九二
計	三三、九〇四	×四、四五七
△其の他		
延吉	八、一六〇	×一、四四〇
承德	一三〇	×六〇
合計	[illegible]	×六五、九七六

第二松花江水力ダム　調辦所組織案

日滿の意見齟齬てやり直し

第二松花江水力ダム工事に伴ふ現地物資供給機關として先般の協議會で大體の決定をみたる調辦所の組織に關する成案は、八日の打合會において滿人側との間に意見の相違を來し、こゝに改めて日滿協力の吉林發展を目標とする原案は白紙に返つて檢討するの情勢に陥つた、水力ダム工業が吉林市今後の發展を左右する大事業であり、且つ新商工會議所法實施の效果を示すべき最初の試金石として注目される折柄、その工作に善處が要望されてゐる

吉林の宗派趨勢

吉林省管下の各宗教普及は全滿において異數の成績を示しその布教の方針並に信者の動向も全滿各地の指針となり寺院の數もこの風潮を示すべく傳統の根強さを象徴してゐるが、吉林省教育廳が今次の時局に際しこの趨勢に着眼して時局認識を各宗代表者に懇談し今後の布教に對する方針を與へたことは注目される

▲吉林省市縣旗宗教統計

宗派別	寺院數	信者數
佛教	二〇五	一三、〇九九
道教	二九九	九七、九〇六
回々教	三六	一九、八二五
喇嘛教	八	一九、六六八
天主教	三九	一〇、一〇五
基督教	四八	三、六六一

山口縣小學校長　鮮滿視察團

山口縣小學校長鮮滿視察團一行十二名は團長同縣視學岸本貫一氏引率の下に京圖線より來る十六日午前七時十分着京同日吉林に赴き同地觀察午後七時三十五分歸京梅屋旅館に宿泊、十七日國都主要各機關を訪問視察の上午後十一時四十分發列車で南下の豫定であるが新京山口縣人會に於てはこれが觀察團の歡迎會を開催すべく準備中である、尙視察團氏名は次の如し

團長　縣視學　岸本貫一
副團長　吉敷郡仁保小學校長　田中萬雄
玖珂郡高森小學校長　廣津爲助
熊毛郡曾根小學校長　澄田廣助
熊毛郡勝間小學校長　大上謙助
都濃郡須磨小學校長　津田徹郎
厚狹郡出合小學校長　師井各江
美禰郡大嶺小學校長　上田義祐
大津郡宇津賀小學校長　石堀茂
防府部松崎小學校訓導　白井良雄
山口市大殿小學校訓導　鳥居勇
豐浦郡華陽青年學校長　高野恭一

新京輸入組合　九月分成績

一、貸付及回收
本月中貸付額　一七四件　金一四七、八六七、〇〇
回收額　一二三件　金一五五、三五四、〇〇
本月殘額　三三六件　金三二七、一九四、〇〇

二、仕入先
1、現地　金一〇〇、九九一、〇〇
2、内地　金一五、五七六、〇〇
3、滿鮮其他　金一、三〇〇、〇〇
4、合計　金一四七、八六七、〇〇

三、組合員及持口數　興業銀行日本橋通支店扱九月末現在組合員一三三名　普通出資口數三、五六六口　特別出資口數一、三八〇口計四、九二四口

四、出資拂込額　九月末現在
普通出資拂込額　金一七八、三〇〇、〇〇
同　特別出資拂込額　金六三、七〇〇、〇〇

五、購買傳票　本月中取扱高　金九二、三二一、三二
取扱店數　九六　使用個所八一個所　使用人員　七五六名

六、商品券取扱高　本月中取扱高　金一三〇、〇〇

哈爾濱小麥暴騰

強保合を續けてゐた哈爾濱小麥相場は、第二次收穫豫想による減收と連日の惡天候に出廻り僅少に加へて製品賣行良好による製粉筋の原料手當など強材料續出に休日明け十一日前場は高値八圓卅五錢と五十錢方の暴騰を演じたが、本格的出廻りあるまで目先き強調を續けるとみられてゐる一方大豆は期近十月限は十五日受渡期日切迫せるにかゝはらず在荷皆無の狀態で空賣筋の踏みあげに十一日前場高値五圓四十六錢と暴騰を演じたが、仕手關係のことゝて先物には影響なく四圓五十三錢と強保合に引けた

愛の太陽イエス（上）

日本組合基督教會滿洲部會幹事　黒田實

[illegible]

……を示した、そうして律法を完成した。

……なんぢの隣を愛すべし律法全體と豫言者とは此二つの誡命……ならぬ人間の一生は愛の巡禮に外ならぬことを知つた其の……

愛の内容は次の如きものである。

一、感謝、マクダラのマリヤの行動の如く（ルカ傳七章四七）己むに己まれぬ感激を以て神を愛し人を愛さなくてはならぬ、神に對する感謝感激があれば自ら熱心なる基督者になり神と人との爲めに何か御役に使つて戴き度いとぢつとして居られなくなるものだ、卒業信者等出來ないものである、感激のない愛は怪しいものである。

二、熱情高價なナルダの油を即ち自己の持つ最上のものを捧げて爲し得る最大の愛情を示したラザロの姉ベタニヤのマリヤの愛（ヨハネ一二ノ三）は實に尊いものである。口先丈の愛は愛ではない、内に充滿する愛がこぼるゝのでなくてはならぬ。

三、純潔、イエスは婦を見て色情を起すな（マタイ五章二八）と云はれた、之はモーセの十誡は斯樣なことを爲すものは愛に反することである、即ち殺す事も姦淫することも人を欺すことも其他凡て此等のことは愛に反することで愛しないことである、結局此等の事も積極的な愛に包含せらるゝことでモーセ律も愛によつて完成せらるゝものであることを明にせられたのである愛は純潔なるものにして純潔ならざるものは愛ではないのである、世には今日は此女を愛し明日は彼女を愛すると云ふ樣に時計の振子の樣な愛をするものもあるが夫は下等なる所謂ラブかも知れぬが眞のラブ、愛ではない。

四、自覺、イエスの親類はイエスが發狂したと思つてイエスを取押へ樣とした、イエスが群衆の中に敎へ給ふとき其母と兄弟が心配して迎へに來た、其時或者がイエスに貴方の母と兄弟姉妹が尋ねて外に來て居りますと告げた處イエスは『わが母わが兄弟とは誰ぞ』『誰にても神の御意を行ふものは是わが兄弟姉妹わが母なり』（マコ傳三章二一、三一—三五）と云はれた、又『われ地に平和を投ぜんために來れりと思ふな平和にあらず反つて劍を投ぜん爲に來れりそれ我が來れるは人を其父より娘をその母より嫁を姑より分たん爲なり』『我よりも父または母を愛する者は我に相應しからず我よりも息子または娘を愛する者は我に相應しからず』と甚だ穩やかならぬことを云つて居らるゝが之は聖書の眞意を知らないものが表面のみを見て非難攻擊する處である、然し之は結局神の國と神の義よりも肉身の本能的の愛に引かるゝものは駄目だと云はれたのである、神は人類の父にして人類は凡て兄弟だとイエスは敎へた、そうして人類は御互に葡萄の木の枝であり葉であつて皆一體であると云つたボウロも人類は人の身體の樣なもので御互に吾々は其内の胴であり足であり手であり口であり鼻であり目であり髮の毛であつて一體であると說いて居る。

私は之は新約聖書の中心思想で基督の運動も此意識の覺醒に在つたと思つて居る私は之を全體意識運動と云ひ此關係を社會連帶責任と云つて居る。

秋の味覺・天下一品　豪華な松茸料理

風味もの、變りもの五種

松茸の板燒

板燒は松茸の一番風味のよい頂き方でございます。

材料（五人前）開いた松茸五本、鯛四尾、柚二個、醬油大匙三杯、砂糖大匙一杯、ほかに板かまぼこの板五枚と焙烙二つ用意。

調理　松茸は石付をとり、洗つてかさと莖をはなし、暫らく鹽水につけておいて、かさの方は四つに切り莖は三分位の輪切にいたします。

鯛（鯛ならばなほ結構）は鱗をとり腸を除き、頭をおとして三枚におろし、尾の方からなゝめに四切位に切ります。かまぼこ板をよく洗つて水氣をぬぐひ、その上に松茸をならべ、上に鯛をなゝめにならべ、皆同樣に板の上に重ね合せておき板二枚を焙烙の中に入れ、焙烙でふたをして、七輪にかけ、上にも火をおき、蒸し燒にいたします。松茸の香が魚にうつり、魚の油が松茸にうつつて何とも云へぬ風味のものでございますこの板を一人に一枚づつ侑めます。

松茸狩にいつて、これをいたしますなら、落葉をたいていたします。つけ汁は醬油と砂糖（それに味の素を小匙一杯加へますとなほ結構）を合せ柚二個を二つに割つて汁をしぼりいれます。これを別の小さい器に入れて添へます。

松茸の田樂

變つて美味しいものです。

材料（五人前）かさの開いた松茸五本と白味噌三十匁、砂糖大匙一杯、味淋同じく一杯半、味の素少々芥子少々。

調理　松茸は前の樣にしてかさと莖をきりはなし、鹽水につけておいてからかさは四つ切に、莖はたてに二つ切にします。それを串にさして兩面を少し燒き、次にお味噌をぬり、芥子をふつて、また一寸位に切つて頂くのでございます。

松茸の玉子蒸

これはお口取りにもなりますし、老人や子供によいものでございます。

材料（五人前）松茸のかさ五つ、玉子六個、鹽茶匙一杯、味淋大匙半分、砂糖小匙六杯、水玉子の殻に十二杯、外に味の素小匙一杯

調理　松茸のかさは鹽水につけておいてよく洗ひ細かく切ります。玉子は鉢にわり入れ、砂糖、鹽、味淋味の素を加へてよく攪はんし水を加へてなほよくかきまぜ、松茸を入れてさらにかき混ぜて角の器に入れて、御飯蒸または蒸籠でむします。この蒸す間は幾度も蓋をとりますと、玉子に穴があきませんん蒸せましたら角形に切つて器に盛り、侑めます。

松茸とほうれん草の甘酢

お惣菜として氣の利いたものです。

材料（五人前）松茸大きいのを三本、ほうれん草二把で充分です。

調理　松茸を前の樣にしてかさは三角形に切り莖はねぢ切にいたします。それをさつと湯煮してざるにとつておき、ほうれん草は茹でて五分位に切ります。この二品をまぜ合せて小鉢に盛り分け、次の甘酢をかけます。お客樣用には小海老を鹽茹にしてまぜますと、よろしうございます。甘酢大匙四杯、砂糖同じく二杯、鹽同半杯をまぜ合せます。味の素少し入れますと、一層美味しうございます。

松茸の胡麻和

これも一寸變つて風味のよいものです。

材料（五人前）松茸八本、白胡麻五勺、砂糖スープ匙一杯、醬油大匙一杯、外に味の素小匙一杯。

調理　松茸を前の樣にしてかさは細かく切り莖はたてに五分位に切り、それをさつと湯煮してざるにとりおき白胡麻をいつて、擂鉢ですりつぶし、砂糖、醬油、味の素を加へて味をとゝのへ、前の松茸を和へます。これは小皿か小鉢に山高に盛つて供します。

新京軍用鳩協會規約

新京軍用鳩協會は十一日から寶山百貨店で軍用鳩展覽會を開催、軍用鳩普及運動を開始し、此際會員募集を行ふが同協會規約は左の通りである

第一條　本會は新京軍用鳩協會と稱す

第二條　本會は軍用鳩飼育者及愛好者相互の親睦聯絡を圖り軍鳩報國の精神に基いて軍用鳩の普及發達、調査研究を行ふを目的とす

第三條　本會は其の目的を達する爲左の事業を行ふ

イ、飼育鳩の登錄

ロ、軍用鳩に關する知識の普及飼育の奬勵、軍用鳩改良發達の促進、訓練指導の實施

ハ、軍用鳩に關する調査研究及統計の作成並に發表

ニ、軍用鳩に關する機關誌の發行

ホ、競翔會、品評會等の開催

ヘ、軍用鳩及鳩具の購買並に販賣其の他の斡旋

ト、其の他本會の目的遂行上必要なる事業

第四條　本會の會員を名譽會員、贊助會員、正會員の三種とす

一、名譽會員は本會に功勞あるものにして評議員會の決議を經て會長の推薦したる者とす

二、贊助會員は本會の趣旨に贊成し相當の寄附を爲したるものにして會長の推薦したるものとす

三、正會員は軍用鳩を飼育し本會所定の手續を經て入會したるものとす

第五條　本會に左の役員を置く

會長　一名　顧問　若干名

評議員　若干名　幹事三名

第六條　會長並に顧問は評議員會の決議により推戴し幹事は會長之を指名す評議員は總會に於て推擧す、役員の任期は各一ヶ年とす、但し再任を妨げす

第七條　會長は本會を代表し會務を統轄す

幹事は會長を助け會務を掌理す

評議員は必要に應じ重要會務を審議す

第八條　本會の經費に會費、寄附金其の他の收入を以て之に充つ

會費は一名一ヶ年金五圓とし毎年一月末日までに一ヶ年分を納入するものとす

第九條　本會々員の飼育する軍用鳩の脚環に本會所定のものを使用すべきものとす

第十條　本會の事業及會計年度は曆年によるものとし豫算、決算は評議員會の決議を經て會長の認可を得るものとす

第十一條　本會々員にして會費の納入を怠りたる時又は本會の名譽を毀損し或は本會の趣旨に反したる行爲ある時は評議員會の決議に依り除名す

第十二條　本規約は總會出席會員の有する決議權の過半數に依るにあらざれば變更することを得ず

新京軍用鳩協會役員

會長　陸軍少將　依田四郎

顧問　步兵大佐　福榮眞平

砲兵中佐　田中久

（滿鐵）山口十助

評議員　井崎於兎彦

森田久　木下猛　中村猛夫　十河榮忠　笠神志都延　大石智郎　駱崎嚴一　小野敏夫　大浦留一　赤塚吉次郎　矢澤邦彦　諫山鄉親　櫻井重義　小澤武男　野口幸雄　[illegible]川[illegible]

幹事　同　同

けふの番組

〔M・T・C・Y　新京放送局〕十三日（水曜日）

朝

▽國民精神總動員強調週間（第一日）＝時局生活の日＝

六、二五　ニュース（東京）

六、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）

七、二〇　初等滿洲語講座（奉天）講師　秩父固太郎

七、四五　朝の音樂（大連）

八、〇〇　國民朝禮の時間（東京）訓話　時局と國民精神　淸浦奎吾

八、二〇　氣象通報

八、四五　建國體操

九、〇五　經濟市況（東京）

九、三〇　經濟市況（東京）

一〇、〇〇　家庭講座（大連）今日の家庭生活に必要な經濟知識　大連商工會議所理事　長永義正

一〇、二五　料理獻立（奉天）

一〇、三五　家庭メモ

一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）

晝

一一、三五　經濟市況（大連）

一一、四〇　經濟市況（東京）

一一、五九　時報（東京）

〇、〇〇　一豊の演藝（レコード）

〇、三〇　ニュース（東京・新京）

夜

一、〇〇　經濟市況（大連・新京）

三、〇〇　經濟市況（大連・新京）

三、四〇　經濟市況（東京）

四、〇〇　ニュース（東京）　ニュース・氣象通報（新京）

四、四〇　經濟市況（大連・新京）

五、二〇　ニュース・演藝（解語）

六、〇〇　子供の時間（大連）童樂童話　その後のカチカチ山　名和双葉構成　後藤資公編曲　お話　名和双葉　獨唱　水原ミノル　伴奏　後藤トリオ放送樂團

六、二〇　コドモの新聞（大連）

六、二五　商業常識講座　新京商業學校教頭　原島省吾

七、〇〇　ニュース（東京）　ニュース・告知事項・番組豫告（新京）

七、三〇　講演（東京）現時の非常時生活　文學博士　伯爵　林博太郎

八、〇〇　唱歌（東京）　海ゆかば　ヴオーカルフオア合唱團

八、〇三　軍歌と吹奏樂（東京）　伴奏　AKアンサンブル

（一）陸軍戸山學校軍樂隊　指揮樂長　岡田國一

一、行進曲「我等の軍隊」陸軍戸山學校軍樂隊作曲

二、軍歌（イ）日本陸軍　大和田建樹作詞　開成館作曲

（ロ）雪の進軍　永井建子作詞作曲

（ハ）在鄉軍人會々歌　相馬御風作詞　中山晋平作曲

三、行進曲「忠誠」陸軍戸山學校軍樂隊作曲

四、軍歌（イ）出征軍人を送る歌　小高□郎作詞　陸軍戸山學校軍樂隊作曲

（ロ）長城突破（其一）（坂田枝隊の奮戰）八木沼丈夫作詞

（ハ）長城突破（其二）（大場部隊の救援）八木沼丈夫作詞　陸軍戸山學校軍樂隊作曲

五、行進曲「銃後の花」陸軍戸山學校軍樂隊作曲

（二）海軍々樂隊　指揮樂長　內藤淸五

一、行進曲「千代田城を仰いで」江口夜詩作曲

二、軍歌（イ）黃海の大捷　明治天皇御製　田中穂積謹曲

（ロ）如何に狂風　佐戰兒作詞　田中穂積作曲

三、行進曲「國民の意氣」海軍々樂隊作曲

四、軍歌（イ）國旗軍艦旗　大和田建樹作詞　瀨戸口藤吉作曲

（ロ）精鋭なる我が海軍　海軍協會作詞　海軍々樂隊作曲

（ハ）敵前上陸白襷隊　松島慶三作詞　海軍軍樂隊作曲

五、軍歌付行進曲　怒濤を蹴つて　松島慶三作詞　海軍々樂隊作曲

九、〇〇　物語（東京）我等も起たむ　池田宣政作　谷天朗　編曲並伴奏指揮　宇賀神味津男

九、二九　時報・ニュース・ニュース解說（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）

一〇、二〇　ニュース再放送

軍歌と吹奏樂　陸海軍軍樂隊の演奏

（後八・三〇　東京）

（一）陸軍戸山學校軍樂隊　指揮樂長　岡田國一

一、行進曲「我等の軍隊」陸軍戸山學校軍樂隊作曲

軍規嚴正、一朝有事の際は勇猛果敢な我等の軍隊精神を謳歌した壯快な行進曲。

二、軍歌（イ）日本陸軍　大和田建樹作詞　開成館作曲

天に代りて不義を討つ、忠勇無双の我が兵は、歡呼の聲に送られて今ぞ出で立つ父母の國、勝たずば生きて還らじと誓ふ心のいさましさ

あるひは草に伏し隱れ、あるひは水に飛び入りて、萬死恐れず敵情を、視察しかへる斥候兵、肩に擔れる一軍の、安危はいかに重からん

道なき方に道をつけ、敵の鐵道うち毀ち、雨と散りくる彈丸を、身にあびながら橋かけて、わが軍わたす工兵の、功勞何にか譬ふべき

鍬取る工兵助けつゝ、銃取る步兵助けつゝ、敵を沈默せしめたる、わが軍隊の砲彈は、放つにあたらぬ方もなく、その聲天地に轟けり

一齊射擊の銃先に、敵の氣力をひるませて、鐵條綱も物かはと、躍り越えたる壘上に、立てし譽の日章旗、皆わが步兵の働ぞ

擊たれて逃げ行く八方の、敵のこらず打ち取る、騎兵の任の重ければ、わが乘る馬を子の如く、いたはる人もあるぞかし

砲工步騎の兵强く、連戰連捷せしことは、百難冒して輸送する、兵糧輜重のたまものぞ　忘るな一日おくれなば、一日たゆたふ兵力を

戰地に名譽の負傷して、收容せらるゝ將卒の、命と頼むは衛生隊、ひとり味方の兵のみか、敵をも隔てぬ同仁の、なさけよ思へば君の恩

（ロ）雪の進軍　永井建子作詞作曲

雪の進軍氷をふんで、どこが河やら道さへ知れず、馬は斃れる捨ててもおけず、此處は何處ぞ、皆敵の國、まゝよ大膽一服やれば、頼みすくなや煙草が二本

燒かぬ乾物と半煮え飯に、なまじ生命のある其のうちは、こらへ切れない寒さの焚火、煙い筈だよ生木が燻る、澁い顏して功名ばなしスイと云ふのは梅干一つ

着のみ着の儘氣樂なふしど、背嚢枕に外套かぶりや、背の溫みで雪解けかゝる、夜具の黍びからシッポリ濡れて、結びかねたる露營の夢を、月は冷く顏のぞきこむ

命捧げて出て來た身故、死ぬる覺悟で突貫すれど、武運拙く討死せねば、義理にからめた恤兵眞綿、そろりそろりと頸締めかゝる、どうせ生きては還らぬ積り

（ハ）在鄉軍人會々歌　相馬御風作詞　中山晋平作曲

建國二千有餘年、神聖比なき皇國の、世界に負へる大使命、果すは誰の任務ぞや

朝日輝く旗風に、迷妄の雲拂ひ去り、正義の利劍人類を、救ひ匡ずはいつの日ぞ

鄕に入りては忠良の、民とし勵み事あらば、出で御國に捧ぐべき我等が此身此命

つとむる業は異なれど、思ひは一つ、いつとても、皇國を護る赤誠は吾等が胸に燃ゆるなり

あゝいくそたび天皇の、降したまへる勅語の、聖旨かしこみ、束の間も、心ゆるめず鍛へばや

三、行進曲「忠誠」陸軍戸山學校軍樂隊作曲

忠勇義烈の血を受けし、日本男子の輝ける、譽たふとみいざやいざ雄々しく共に進まばや

忠勇世界に無比なる吾軍隊の愛國精神をよく象徴した曲。

四、軍歌（イ）出征軍人を送る歌　小高□郎作詞　陸軍戸山學校軍樂隊作曲

決然起つて不義を擊つ、勇武の志士は今ぞ征く、愛國の情炬と燃えて、身は君國に捧げたり、征け武夫よ意氣高く

御稜威輝く皇軍の、血汐に染めし日本魂、空海陸と行くところ、正義に向ふ敵もなし、征け武夫よ意氣昂く

東洋平和の大使命、破邪顯正の大旆を、死線を越えて樹てん時、譽は殘る十載に、征け武夫よ意氣昂く

今ぞ送らんこの門出、護る銃後の鬨の聲、見よ堂々と進軍の、世界に矜る熱血譜、征け武夫よ意氣昂く

（ロ）長城突破（其一）坂田枝隊の奮戰　八木沼丈夫作詞　陸軍戸山學校軍樂隊作曲

霧湧く山は巖そゝり、長城遠く雲に入る、斷崖胸を衝くところ、愛馬轉びて谷に墜ち、あゝ戰友は血に染みぬ

死生を越えしつはものが、一念今は焰なし、身を肉彈と巖よぢ、友が屍を背に負ひて、匍匐迫る敵の壘

むらがる敵よ寄らば寄れ、屍乘り越えて、肉彈相搏つ山岳戰、血しほをすゝり先かけて將兵ならひ突擊す

とべよいざ行け傳書鳩、ゆきて傳へよ本隊に、いま長城の巓高く、吹きひるがへる日章旗、枝隊はこれを死守すべし

彈丸つきぬれば巖を割り、敵を雪崩と押しひしぐ、糧絕えたれば草を嚙み、雨を鐵兜に受けて飮む、長城の華坂田隊

（ハ）長城突破（其二）大場部隊の救援　八木沼丈夫作詞　陸軍戸山學校軍樂隊作曲

篠衝く雨やぬばたまの、闇の山路に水溢る、帶革にぎり離るゝな、友軍今や救援なく、敵が重圍のうちに在り

猶豫はならじよしさらば、進む決死の突擊隊、猿臂踏ふ嶮峻を、一氣に攀ぢむ續けとぞ、凛たり救援部隊長

こゝ長城の山の上、連絡たえて十餘日、よくぞ守りしよくぞ來し、兩隊長は言葉なく、ひしとぞ手をば握りたり

三日二夜の激戰に、勇士の半失ひて、いま山上に湧く凱歌　汗も拭はず藹然と、東に向ふ將と兵

劍光は陽に照り映えて、新戰場は香たえぬ、勇士額伏し大君の、御稜威かしこむときのまや、其の名香ぐはし大場隊

五、行進曲「銃後の花」陸軍戸山學校軍樂隊作曲

熱誠火と燃ゆる銃後の國民精神を音樂の世界に於て巧に表現せるもの。

（二）海軍々樂隊　指揮樂長　內藤淸五

一、行進曲「千代田城を仰ひで」江口夜詩作曲

莊嚴朝日に映ゆる千代田城をことほいだ堂々の行進曲。

二、軍歌（イ）黃海の大捷　明治天皇御製　田中穂積謹曲

頃は菊月半過ぎ、我が帝國の艦隊は、大同江を艦出して、敵の所在をさぐりつゝ、目ざす所は大孤山、浪を蹴立てて行く路に、海洋島のほとりにて、彼の北洋の艦隊を見るより早く開戰し、或は沈め又は燒く、我が砲擊に彼の艦は、跡しら浪と消え失せぬ

忠勇義烈の戰に、敵の氣勢を打ち碎き、我が日の旗を黃海の、波路に高く輝かし　いさををなして勇ましく、各艦共に揚げ競ふ、凱歌は四方に響きけり、凱歌は四方に響きけり

（ロ）如何に狂風　佐戰兒作詞　田中穂積作曲

如何に狂風吹きまくも、如何に怒濤は逆まくも、假令敵艦多くとも何恐れんや義勇の士、大和魂充ち滿てる、我等の眼中難事なし

維新以降訓練の、技倆試さむ時は來ぬ、我が帝國の艦隊は榮辱生死の波分けて、勃海灣內乘り入りて、擊ち滅さん敵の艦

空飛び翔る砲丸に、水より躍る水雷に、敵の艦隊見るうちに、皆々碎から粉微塵、艫より舳より沈みつつ、廣き海原影もなし

早くも空は雲晴れて、四方の眺望も浪ばかり、餘りに脆し敵の艦、此の戰はもの足らず大和魂充ち滿てる、我等の眼中難事なし

三、行進曲「國民の意氣」海軍々樂隊作曲

遙かに皇國のために身を獻げつつある皇軍に無限の感謝を獻げつつ銃後の護りに決意固き國民の精神を表はした行進曲。

四、軍歌（イ）國旗軍艦旗　大和田建樹作詞　瀨戸口藤吉作曲

天津日影の曇なく、日本島根のゆるぎなく、萬世一系萬國に、秀れて尊き大君の御稜威輝く日の御旗

四面海もて圍まれつ、外侮を受けずして、三千年の譽ある、歷史と共に萬代に、光を添へん軍艦旗

淸き操の白き地に、燃ゆる誠を染めなして、紅ふかく圓なる、心の色の鮮やかに閃き渡る日の御旗

血潮漲る忠と義の、赤心一つに國守る、御艦の向ふ所には、逆卷く波も靜まりて四海を照らす軍艦旗

（ロ）精鋭なる海軍　海軍協會作詞　海軍々樂隊作曲

太平洋上精鋭あり、世界に冠たる不拔の力、忠烈勇武たゞ一誠、協力一心皇國護る、海軍、海軍わが海軍、祖國の護りわが海軍

悠久輝く祖宗の遺訓、天地を貫く正義の理想、赤誠奉公たゞ信念、千載くもらぬ歷史は古し、海軍、海軍わが海軍、祖國の光わが海軍

燦然ひらめく旭日の旗、磐石動かぬ軍紀は堅し、獻身殉國たゞ本分、聖訓畏み將兵奮ふ、海軍、海軍わが海軍、祖國の命わが海軍

（ハ）敵前上陸白襷隊　松島慶三作詞　海軍々樂隊作曲

黃浦江畔夜は白み、霧立ち昇るこの朝、我陸軍の上陸を、護るは己が軍任ぞ

五歳昔わが友の、屍を積みし古戰場、殘月淡く地に落ちて肌に寒し白襷

忽ち起る艨艟の、砲聲天をつんざきて、爆煙凄し敵の陣、戰機は今と陸戰隊

いざ進擊の命令に、劍光さつと闇を斬り、我遲れじと勇士が、敵陣めざし突入す

轟然起る地雷火や、かなた火を吐く機關銃、倒るゝ友を乘り越えて血路を開く突擊隊

吳淞鎭の朝ぼらけ、血潮に染めど白襷、高く揚ぐる軍艦旗、友軍既に上陸す

五、軍歌付行進曲「怒濤を蹴つて」松島慶三作詞　海軍々樂隊作曲

進め艨艟怒濤を蹴つて、進め海原萬里の涯も、水漬く屍と覺悟は堅く、示せ萬邦皇國の光、何を恐れん狂瀾怒濤、威風堂々朝日の旗に、三千餘年輝きわたる、示せ萬邦皇國の譽

一死奉公我等が誓、悠久平和我等が使命、四方に湧き立つ仇被[illegible]め、示せ萬邦正義の光

學藝

戰爭と藝術 演劇の展望 (三)

大賀賢

戰爭は云ふまでもなく社會の隅々にまで、その影響を投げかけてゐる。手近な話をすれば會社員は洋服地が高くなりはすまいかと恐れ、汗水たらして小金を溜めた人々は今の內に何か貴金屬でも買つて置かうかなどと相談し合つてゐることであらう。今度の事變なども單に新聞紙上に現れた戰ひの姿として見るのではなく、自分たちの日常生活に直に喰ひ入つて來る出來ごととして深く考察されなければならないだらう。演劇の仕事に携つてゐるものたちは、洋服地が高くなるかどうかを心配してゐる會社員にくらべてより直接の波紋を身に感じてゐる。歌舞伎を見るがよい—引續き三ヶ月以上も休演してゐる一座もあり下級俳優たちはぎり〳〵の生活難に向ひ合つてゐる。それも東京はまだしも地方の演劇界は火の消えたやうな有樣である。不斷商業劇場の客席を滿たしてゐる化粧品屋や酒屋の連中や會社の總見などは眼も當てられぬ激減ぶりであるらしい。かうした非常時に芝居見物でもあるまいといふ考へのためなのだ。この事は逆に云へば、演劇といふものが吾々の日常生活とはかけ離れた娯樂、物見遊山的なものと解されてゐる證據であり、又演劇企業家たちは眞に民衆の精神的糧ともなるやうな芝居を提供することに無力であることを物語つてゐるとも云へやう。彼等はその無力さを蔽ひ隱すために一夜漬の戰爭ものを舞臺に氾濫させてゐるが、その大部分は舞臺で打鳴らされる銃聲のやうにたゞパン〳〵といふだけで人々の心の中に深くこだまを起さすやうな藝術品とは全く縁遠いものである。作家も俳優も、戰爭といふやうな人生の大事件に對して、もつと愼重な態度をとり、もつと深い考察を拂ふべきだと考へる。舞臺に見入つてゐる時だけは笑つたり、泣いたり、昂奮したりするが、一歩外の空氣に觸れゝばすぐケロリと忘れてしまふやうな芝居からは眞の藝術は發生し得ない。

第二回音樂親話會 (三)

眞殿　よく聞かされますが日本の交響樂團よりもいゝと云はれますが、この滿洲の誇りは一度潰すともう出來ないと思ひます、この前大連に行かれた時はみんなして切符を賣り放送局にも頼み、儉約をしてもらつてやつと收支がつぐなつたと思ひます

鈴木　奉天も收支償つたが新京は手續を誤つたのか駄目でした

眞殿　新京はその世話をする人を作らなくちやいけません、まだ二年後の問題ですが映畫協會のスタヂオでトーキーもつくることになるが、あれだけのものをつくるのは大變ですから今から潰れない樣に映畫協會あたりから補助金を出さすやうにしたらどうです

鈴木　生活に追はれるので上海の方に移りたいといふ樣な口物を洩す者も居りますが有志の者が留めてゐるといふ始末です

眞殿　私は日本に行つたら十五人位は拔かれるんぢやないかと思ひます、行けなくなつたのが却つて仕合せだつたんです

御厨　それは生活の問題でせう、どれだけあれば引止められるんですか、職がないのは何人位です

鈴木　職なしは學生もいれて十四人ばかり、あとは職を持つて居ます

眞殿　平均收入四十圓位と云はれますがどうなりますか

鈴木　コンダクターが筆頭で市公署、放送局の勤務先から六十五圓、二回の演奏手當五十圓、合計百十五圓以下百十圓から五十圓、三十圓位、全然手當をやつてないのもあります、學生などは他の收入はないんですし平均五五—六〇圓足らずですね、そして扶養家族は二人から四人位のもあります

それで今、月給制度にしますと收入が二萬四千三百七十圓、支出が三萬八千七百五十五圓、差引一萬四千三百八十五圓ほどの赤字が出る勘定です、その收入の內譯は定期演奏會の六千圓、維持會八千圓、放送料千圓、プロ賣上二百圓、出張演奏七千圓などが主なものです

磯部　出張演奏とはどんなものですか

鈴木　哈爾濱市公署や鐵路局の慰安演奏會と春秋二回滿鐵の招聘による大連、奉天の演奏旅行等です

御厨　これを維持するのはハルビンだけでは困難だから全滿を廻るやうにしたら、それにハルビンの演奏會も月二回でなくも少し頻繁にしたらいゝ、兎に角ハルビンの獨力でやらうとするから苦しいぢやないですか

磯部　やつてゐればだん〳〵やつてゆけるやうになるんぢやないですか

奥村　ハルビンだけでなく滿洲國の音樂思想發達のためこれを維持することは意義があります、新京には機會が少いので鐵道バスがあれば近いことだし三ヶ月に一回位出て來ておやりになれば、また維持會員も出來ませうし、愛好者をつくることが非常に大切なことです

鈴木　前の委員長沼田氏や藤島氏などの役員が新京に來られたのでいままでは新京に會員をつくると意氣込んでゐます

眞殿　一回こちらに出張演奏されゝばどの位かゝりますか

鈴木　大連、奉天演奏旅行は一泊に八十圓の計算です、これは宿賃だけです、新京の演奏では「宿泊せず」となつてゐます、それで新京に演奏に出るには汽車賃往復五割引で二百三十圓だけかゝります

眞殿　それは皆質素にして大連では白露人の家にとめたりまるで木賃宿みたいで氣の毒でした

磯部　月給制度にして、それだけはまあいるといふ計算ですね、月給は平均いくらです

鈴木　一ヶ月四十五圓です、新京の維持會員は三百名とし一人一圓年に三千六百圓を豫定してゐます

磯部　補助することにすれば無言の宣傳になつて音樂のパンフレットを出すよりもいゝ

鈴木　入場者は殆んど白露人で日本人は百人位です、發達したとはいひますが日本人はまだ管絃樂はあれもこれも同じでやはりまだ分らないのですね

御厨　でも東京、大阪はさうぢやありません、超滿員です

鈴木　早い話がエルマンが來てもエルマンよりうまいと云はれる樂長がゐるのでハルビンでは入りてが少かつたですよ

御厨　そんなのがゐることを宣傳しなくちや知らない人が多いから

眞殿　新京ぢや全然理解がなく外人が來てたゞ金を持つてゆく位に考へられ普通の興行物といつしよにして萬歳や浪曲位に思つてゐて駄目です

鈴木　トラフテンブルグといふ樂長はベルリン國立音樂學校を卒業歐米各地を旅行して十三年前に來滿、私の方の手當は三十圓しかやつてゐません、この人は逃げ出すことはないでせう、コンダクターのシュワイフコスキーは五年前に來滿しましたが、ペトログラードの音樂院で學び後上海でも指揮をしてゐました、女のハープはどこにも見出せないものでドルヂニナと云ひます、舊帝室樂團のハーピストとして勤めてゐたが革命に逃げて五年來哈、とに角ロシア人が生活に苦しんでゐるのは想像以上で何とかしてやらなくちや、お互に片手間にやつてゐるもんだからどうも

思ひつき —牛島春子「苦力」—

あの「王屬官」の作者が「苦力」と題する一作を見せてくれました。(「滿洲行政」十月號)こゝでは或る若い日本人が、數人の苦力たちを監督するといふ仕事に就き、色々溫情主義的なやり方をして、苦力たちから親しまれてゆくといふ物語が要領よく語られてゐます。在滿女性によつて、この題材が選ばれたこと、一應喜んでよいでせう。それに作者は巧みな溫情主義を持ち込んで物語を手頃な國策小說に仕上げてゐます。一派の國策文化論者たちを滿悦せしめたことゝ思はれます。たゞ注意したいのは、われ〳〵としては、更に一歩突き込んで批判する用意が要るであらうといふことです。題名は「苦力」でありながら、此處では苦力監督といふ日本人に接する場合の僅かな彼等の表情が描かれてゐるだけであります。これは苦力をちよつと眺めたほどの感興から作り上げられたものとしか思へません。小說の形式を借りた輕い思ひ付きの隨想といつたものなのです。(明野照)

焚火

玉川辰郎

焚火あとしろ〳〵と餘煙たちのぼりゐてしとゞまは深し夕べ雨ふる

しろ〳〵と餘煙たちのぼりゐる焚火あとに雨降りてゐぬ雨ほそ〴〵と

或る女のこと

別に之れと云つて取柄のある女ではないが一生懸命に戀ひをする女なり

幾杯も幾杯も酒飲み居しがやがて聲あげて泣き出せしかな

心が淋しいの、とぐい〳〵となほ酒あふるなり失戀せしとな

國都柳壇よさらば

吉原井砂緒

滿洲鵜が國都の屋波に騷ぎ始めた。北の風が散れよ散れよと並木の葉に呼びかけて行く。・・・うすら冷い夜空にろうろうと輝く、百貨店の無駄な明るさを氣にしながら、十月の窓際に敵る宿命の荷を纏めねばならなくなつた。人間到る處に青山あり、喝破した偉人ナポレオンの終局も文化に交渉の淺い、洋上の一孤島にしか過ぎなかつたのだ。まして凡人においておやだ。分りの機敏な川柳家達はきつとすべてを察知して呉れるであらう。

凡そ川柳家にして會のある土地に住みながら會に行けぬ生活位ゐ侘びしくも又耐へ難いものはないであらう。この生活の無聊を小女郎氏は知つてゐて呉れたのか、役所の歸りによく寄つて呉れたものだ。そして一風さんとこの子供が亡くなられた時にも、わざ〳〵僕の遊び場所を突止めて電話をして呉れたり、香典の打ち合せに歩いたり、雜誌を屆けて呉れるなど、ぴんからきり迄面倒を見て貰つた、だけに吟社即小女郎の感があつた。

それは單に小女郎氏の獨舞台や獨壇場的なものを意味するのではなく、人間小女郎が隨所に躍如してゐたからである。

又はこんなこともあつた。奉天の宇和川木耳氏の歡迎句會を終つた後、結氷の夜の徒然と云ふことにして、吉野町のどつかで木耳氏、小女郎氏の三人で夜の更くる迄メートルを上げ乍ら川柳を語り論じ或ひは上海小唄の咽喉佛をはめたりして、朗かな鉢合せをした。あれから間もなく例の電柱の唸りが、青年小女郎の俎上に載り、遂に所屬吟社の體面擁護的な雰圍氣をさへ惹起したこともあつた。

川柳家即ち人間である。凡人である。決して超俗の輩ではない。故に希望もあれば野心も起る、それを徹すことの爲には多少のいざこざが伴ふさして不思議ではない。唯遺憾なのは、事の起りに處する手合ひの緩急如何の小さな間隙の片鱗を覆つて全面的な評價材料にしようとする世間である。

そのやうな世間は世間として、吾等の木耳氏よ、小女郎氏よ滿洲川柳の發展への興隆への培ひをもつと〳〵絶叫せよだ、と、ひそかに語り乍ら滅つた荷物を膝にして、敗殘者の左様ならをマーチョの蹄の音にさせて行きます。あゝ小女郎氏、泥柳殿、一風さん、共に何時迄も元氣な三羽烏で鳴いて呉れ。では國都柳壇よさらば。

大移動劇團?

あちらこちらと轉々したので有名だつたのに昔の七日會があるが、大同劇團の事務所つていふのもこれに劣らぬ移動振り▼先づニッケ二階の映畫協會(いや、その前には滿日文化協會內といふ話もあつたかと思ふ)の片隅借用、それから協和會の宣傳科の室に大きな机を陣取つた▼近頃、やつと老松町のもとの中山義夫君のスタヂオを中山君によそへ行つて貰つて使用することにしたといふ▼尤も首腦部の連中はよくニッケパーラーに現はれるらしいから用があつたらそつちへ行つた方が早いかも知れん

卓上医学

眼を酷使する近代人

激増する視力障害と眼疾

誰にも必要な健眼工作

獨逸 の有名な工業會社の發表によりますと、一日中で最も多く事故の起る時刻は午前では十一時から十二時まで、午後では五時から六時迄だとの事です。これは丁度仕事に取掛つてから四五時間目で一番眼の疲れて來る時刻だからであります。疲れて來ると腦との聯絡が惡く、確かに眼で見た物を瞬間で判斷が出來なくなり、斯うした事故が起るのであります。

斯樣 に眼と腦とは不可離の關係にあり、眼の故障は能率の減衰、事故の原因となるばかりでなく、近代病と言はれる神經衰弱も大多數は眼の疲勞から誘起されるものと見られて居ります。にも關らず近代生活は凡そ眼を疲勞衰弱せしむべき凡ゆる條件が具つて居ります。

例へば一歩外出すれば舖道には捲き上げる濛々たる砂塵と有害ガスは容赦なく眼を傷けます。洪水のやうに圓タク、電車、バス、自轉車が疾走し、それ等の[illegible]晝間電燈を[illegible]るビルの一室で、執務、記帳、夜更し等等、眼を酷使、虐待するやうに出來上つて居ます。

都會 人の誰もが殆ど不知不識の間に眼を傷め、視力障害に陷つてゐるのも蓋し當然過ぎるのであります。處がかうした視力障害は概ね緩慢に起つて來る爲に多くの人は、迂濶に捨て置く場合が多く、次第に重症に移行し、それと氣付く時には既に遲く、不治の近視や重症の眼疾に陷つて、甚だしく難澁するのが常です。

何病でも手當は一日早ければ一日治りが早いので、特に眼のやうに微妙な感覺器官の故障は一刻も早く手當せねばならない筈です。

では茲に近代人に最も多い眼病とその適切な手當法を述べて見ることに致しませう。

眼精 疲勞――これは執務家、學生、細かい仕事や編物をする人に多い近代的眼病の一つで、眼が疲れ易く、視力がボンヤリし、頭が重く、讀書や事務が嫌になります。又腦に直接影響して記憶力や判斷力が鈍り、睡眠不足の感じがいつもつき纒ひます。

次に結膜炎――俗にはやり目、やに眼、はれ眼などと稱ばれるもので、結膜の充血、眼瞼の腫れ、眼脂の分泌等が主なる症狀で　明るい光線が眩しくて見られぬやうになります。原因はK・W氏菌、塵埃、强烈な光線の刺戟です。時として刺さやうな痛みを覺えることもあります。

角膜 炎――星眼、つき眼、霞み眼、爛れ眼等と稱ばれ、眼球の黑い部分が冒される眼病です。原因は外傷或は結膜炎の進行によるもので、黑目に星が出來たり、濁りが見えひどく眼が霞み、瞳には醜い斑點が起ります。相當重い眼疾の一つです。

その他眼瞼炎、麥粒腫、淚囊炎、トラホーム等がありますが、いづれも眼の酷使、不衞生から感染、誘發されるもので早期手當を怠れば、視力障害、失明の危險を伴ひます。

適當 な家庭療法としては一日に數回「新時代の眼科治療劑」として信賴されるスマイルを點眼することが最も手輕で効果的です。スマイルの持つ優れた殺菌、收斂、鎭痛、消炎作用は快よく病菌を殺し、痛みを和らげ腫れ、たゞれを引かせ、視力を回復して、不快な眼疾を治療します。勿論眼疾の治療以上に讀書、執務、編物などの細かい仕事で眼の疲れた時に點眼すれば、眼疾を防ぎ、視力を增して、眼の健康な明澄さを齎らし、能率を著しく向上せしめます。

尚スマイルは醫學博士中村榮先生、醫學博士仁藤隆作先生の推奨される近代的眼科藥で、定價廿五錢、四十五錢で藥店百貨店藥品部にあり。總代理店東京大阪株式會社玉置商店（振替東京七二番）

映畫と眼

映畫を見ると眼が疲れる…とよく映畫フアンの嘆聲を聞きますが、或る專門家の說によりますと、暗所に於ける同一物の凝視、畫面の動搖と明暗、急速なる變化等による映畫の影響は、視神經の疲勞度にかけて、執務や讀書に數倍すると報告されて居ります。

よく映畫鑑賞後に眼の充血や疲勞を訴へるのは全くこの爲で、甚しい場合には、明るい光線が眩しくて見られないやうなこともあります。從つて映畫鑑賞を快適にする爲には常に優れた眼科藥スマイルを携行して隨時點眼し、視力の保護と回復に備へることが必要でせう！

榮養不良　―から起る―　小兒の眼疾

☆小兒の夜盲症や角膜軟化症が榮養不良から起ることは御承知のことと思ひますが、一般に病原菌の侵入から起ると信じられてゐる結膜炎や角膜炎も、榮養の不足から起る場合が決して少くないのであります。

☆例へば角膜炎（ほし目、霞み目）などはその代表的なものでこれは主としてヴイタミンAやDの不足した所謂虛弱體質の子供が屢々繰返す處の眼疾であります。亦弱視兒童と稱ばれる視力の弱い子供がありますが、これなども主として榮養不良から誘起されるもので、體質的に改善しない限り根本治療は困難であります。

☆從つてこれらの眼疾の手當としてはまづ榮養狀態を改善して體質を强化する必要があります。例へばヴイタミンAD劑として著名な理研ヴイタミンのやうな榮養劑を常用させ、病原を除くことが肝要であります。勿論眼疾そのものの手當としては優秀な眼科藥を隨時點眼して症狀を輕快せしめねばなりません。

☆斯うした小兒眼疾の治療劑として最も好評を博してゐるのはスマイルで、スマイルの持つ優れた殺菌、消毒、鎭痛、健眼の各作用は、迅かに眼疾の苦痛を去るばかりでなく、視力を强化し、連用すれば著しく眼性をよくします。

夏の警見

プール遊泳の心得帖

ハダカの世界、水の世界、夏になると俄然プールが人氣の焦點となります。だが困つたことにプールで泳ぐ人には結膜炎の一種でプール性眼炎といふ非常に強い傳染力をもつ眼病が流行ります。

原因 はプールの水が汚れてゐるからですが、一體どの位汚されてゐるか？　嘗て[illegible]府の衞生試驗所で調べた結果を見ますと、使用後六日で見た目にも[illegible]に汚濁してゐる事がわかり、化學的に見て、クロール、アムモニア、蛋白質アムモニア等が檢出され、更に驚くことには、細菌數六萬四千、中には大腸菌、葡萄狀球菌さへ發見されたといふ事です。

勿論 クロール石灰を投入して消毒しますと細菌數も減りはしますが、それでも伺は消毒後十五時間を經つて調べてみましたところ細菌四千餘を檢出し得たといふのですから油斷はなりません。

斯樣にプールの水は經費の關係で水を取り變へる事も少いのでどうしても不潔になり勝ちなものです。そこへ一人でも何かの病患者が泳ぐと、忽ちその黴菌がひろがつてしまひ、一度この菌が眼に入ると洗つた位ではなかなか防げるものではありません。それに

無闇 に眼を洗ふことは却つて眼を害しますから、ホーサン水でざつと洗つておくとか、もつとよい事は殺菌力の強い眼藥スマイルを點眼しておくことです。

點滴

遠視の手當

☆眼性神經衰弱の主原因と見られる遠視は、近いものや、細かい物を見るとひどく頭痛がしたり、眼が疲れたり、充血したり、肩が凝つたり、非常な疲勞を覺えるものですが、一般に氣の附かぬ人が多いやうです。遠視の手當は凸レンズの眼鏡で容易く矯正されるものですから捨てて置かないで、早速眼鏡をお用ひになることです。

沿海州同胞虐殺に 在京半島人憤激

各團体緊急協議檄電を發し ソ聯膺懲運動を開始

反ソ運動の狼火

最近ソ聯では沿海州三十萬半島人の親日滿傾向を怖れるとゝもに氣候風土の不良なる中央アジヤ方面の開拓を企圖しこれが歐ソ方面への大量輸送を開始し故意の列車事故を惹起せしめ三千の死傷を出したがこのソ聯當局の計畫的大量殺戮に憤慨した在綏芬河半島人は「反ソ鮮人運動期成同盟」を結成十二日左の如き檄電を協和會中央本部宛打電したので在京半島人團體朝鮮人民會、民會聯合會、滿蒙日報、協和青年團、同少年團、同朝鮮人分會、首都本部國防婦女會各分會は十二日午前十時より民會々議室に於て緊急會議を開催し

無辜なる在ソ同胞殺戮事件發生の報に接し切齒憤懣に堪へず、當地に於ても之が徹底的膺懲運動を起さんとす、貴會に於ても今後益々奮鬪せられんことを望むとの激勵電を發し

一、反ソビラを在滿及び朝鮮民衆に配付して反ソ運動の徹底を期す

二、十五日午後一時より協和會館に於て反ソ運動市民大會を開き講演、陳情文、反ソ宣言文を決議し在ソ同胞にメッセーヂを送ることゝなつた

コミンテルン滿排擊の機運く濃厚化せんとする折柄右は反ソ運動の狼火とみられ成行は重視されてゐる

詐取、無錢飲食 逃走中捕はる

本籍長野縣下高井郡夜間瀨村三四八、住所不定塚田三雄（二九）は本年四月頃より大經路治安部北の荒井鐵工所に雇はれ中再三に亘り總計二百六十圓八十錢を詐取した外市內飲食店に於いて無錢飲食し九月上旬頃姿を晦したが十一日午前十一時三十分頃鐵道北軍用路に於いて領警署谷口刑事に發見逮捕された、目下餘罪取調べ中である

民衆にも希望を

協和會第二次皇軍慰問團 十五日北支へ出發

さきに北支へ慰問團を派遣し日滿支親善の上に多大の效果を收めた協和會では、さらに第二次皇軍慰問團を河北及び察哈爾の第一線に派遣することになつたが、今次の慰問團員は前回代表を出さなかつた黑河省、興安北省、三江省、牡丹江省、新京より男子十一名及び奉天、哈爾濱、新京吉林各都市より婦人代表四名合計十五名を選拔し慰問の方法も前回の成績に鑑み第一線部隊慰問の傍ら各地方の治安維持會等と密接な連絡をとり多數の民衆を集めて映畫、講演會を開催、滿洲國を紹介すると共に北支民衆に新しき希望を吹込む計畫である、團員の人選は目下各省本部の手で進められてゐるが、團長には總務廳次長谷次亨氏が有力であり、協和會指導員には企畫科員松川平八氏が決定してゐる、なほ一行は人選決定次第新京に集合の上來る十五日新京發大連より海路北支に入る豫定である

拉々屯無電台 きのふ落成式擧行

滿洲國中央觀象台では本年五月十五日より拉々屯に於て總工費三萬四千餘圓、敷地面積一五、一八四平方米、建築面積二五三、七五平方米、外に搭家一五、九三平方米の無電台を建築中であつたが、去る八月三十日をもつて竣工したので十月十二日全滿氣象會議に出席のため各地台長の來京を機に午後三時よりこれが落成式を擧行した、列席者は各地台長十五名、中央觀象台側より十五名、呂實業部大臣を始め軍關係者卅餘名で一同着席の後、修祓、降神行事、獻饌、祝詞奏上、淸拔、玉串奉奠、撤饌、昇神行事、式辭、來賓祝辭、祝電披露、營繕需品局長の挨拶あつて午後三時半終了した【寫眞は竣功成つた無電台と落成式】

コレラ禍に萬全期し 兩市場を消毒

衛生當局再度の注意

氣溫の低下と共にコレラの猖獗も漸次終熄するものと見られてゐるが、油斷大敵とあつて新京署京口衛生主任、羽生滿鐵保健所長、多田滿鐵衛生隊長の附屬地防疫機關首腦者は先陣に立つて十二日午前十時より午後二時まで吉野町市場及新京市場會社の兩市場に對して消毒を實施し防疫の萬全を期した、なほ原口衛生主任は左の如く防疫に對して市民の注意を促した

原口衛生主任談

大連、奉天と「コレラ」が出て何時新京に侵入するか豫斷を許さゞる狀態でありますが、此處、旬日が問題と思ひますので、簡單な御注意を申上げます、皆樣の御協力によつて新京を完全に守りたいと思ひます

一、生のものを食せざること刺身其の他生魚介類ばかりでなく、市場其の他店舖から買つて來て、その儘食膳に上る品物は總て充分注意を拂ひ、よく煮るか、よく消毒するのが、安全であると思ひます

二、當署管內の料理店、飲食店、旅館、カフエー等には各組合を通じて刺身や酢物等の使用を差止めてあるので若し此等を提供する業者があれば申告して戴き度い嚴重處分する豫定です、又各業者もよく守つて戴き度い、不便でも僅かの期間ですから

三、當署では防疫事務の補助として、目下臨時防疫監吏を採用し、各家庭に廻らせてゐますが、防疫監吏の質問にはよく答へて戴き度い、また防疫上の相談も結構です

當署の管內は附屬地のみで大新京の一部分に過ぎないので、防疫上の完璧を期する爲には附屬地外に在る各御家庭の協力を得ねばなりません、新京には絕對コレラを侵入せしめざる樣御協力をお願ひします

釜山からの鮮魚 十二日から輸禁解除

【京城國通】釜山がコレラ傳染地帶と認定され去る七日以來同地から滿洲國への鮮魚輸入が禁止されてゐたが、總督府より滿洲國側に對し即時解禁方交渉の結果關東局でもこの要求を入れ十二日をもつて輸入解除をなすに決定、安東警察署ならびに安東稅關から正式通牒を發することゝなりこゝに釜山からの鮮魚輸入禁止解除問題も圓滿解決を見た

錦州のコレラ 赤痢と判明

十一日午後七時錦州着（北平發奉天行）の滿支直通列車乘客滿人女、陳劉（五五）はコレラ容疑患者として錦縣鐵路病院に收容、渡邊博士の檢便の結果同人は山海關にて葡萄および蟹を食し山海關から乘車、途中にて猛烈な吐瀉をしたゝめコレラと誤られたものであるが、赤痢患者なること判明した

元氣一杯、見事な教練 青年學校査閲

きのふ好成績裡に終る

青年學校十二年度教練査閲は十二日午後一時より西公園運動場において關東軍兵事部加納榮造中佐査閲官として菅野前滿鐵支社地方課長、本社學務課池田大佐、關東軍副官泉少佐、五十嵐鄕軍聯合分會長田中後援會長、稻川驛長、藤島新京署長初め八十名の來賓の臨席を得て羽田校長の號令一下開始された　先づ全員君が代合唱のうちに國旗揭揚式を終り、續いて教練に移り各個教練に部隊教練に全校八百五十名の生徒は一絲亂れざる統制振りを見せついで西公園內に展開された戰鬪教練に於ては正確なる判斷と沈着なる行動に滿場の觀覽者を感嘆せしめた、終つて閱兵分列に移り劉喨たる喇叭の響のもとに力强き行進をみせて午後五時加納中佐の講評に移つた

天氣晴朗のもとこの成績良好なる教練の査閲を終つた事は本官の深く喜ぶところである、諸氏は先づ多忙中を顧みず臨席の來賓諸氏殊に菅野地方課長の如き奉天榮轉の身にも拘らず出席された事に感謝して、大滿洲國帝都の青年として各の本分を自覺して爲すべき事は必ず貫徹する迄行ひ、洋々たる未來に大なる希望を持つ事である

と述べ、次に表彰式に移り研究科二年村上孝雄、山口德夫、黑木淸則三君に賞狀田中卓二、早川武夫、稻川利一、三橋康豐四氏に感謝狀筒圓二師雄氏に表彰狀を授與して午後五時三十分閉會した、尚同中佐は市民各位に對しても青年學校の成績如何は雇傭主の理解に依る事重大に就き今後生徒の入學を奬勵して出席率の益々增加する事を望む

と語つた【寫眞は教練査閲】

働く姉妹の其の後

面倒見るといふ伯父樣にも辭退 健氣、飽迄自活誓ふ

七月十日附朝刊既報、美しき姉妹談話として當時市民の同情を集めた話題の人本籍德島縣海部郡牟岐町大字川長、現在新發路帝都グリル及東一條喫茶店ドリアンのサービスガールを働く高松鈴枝さん（二〇）文子さん（一五）の姉妹についてはその後惠まれぬ環境に鬪ふけなげな心根にいたく同情した新京署では本籍地に親類關係調査援助方を依賴照會中であつたが、圖らずも大阪市港區尻無川北通二ノ一三高松林太郎氏が伯父と判明、同氏は子供も無く瓦商として相當の生活にあるもので當局の照會と本紙の記事により姉妹の事情を知るところとなつて希望あれば引取り面倒を見るとの書面が屆いたので同署では姉の鈴枝さんを十二日午後召喚して意見を聽いたが鈴枝さんは

伯父のあることは聞いてゐましたが、會つたこともありませんし、それに私達も元氣で働くことが出來ますからこれまで通り二人で働いて負債も返し末妹の光ちや育てん（五）もゝ行きます

ときつぱり世話になること斷つて、獨立獨歩生活に鬪ふ旨雄々しく誓ひ係員を感動せしめた【寫眞上鈴枝さん、下文子さん】

藤山一雄氏作詩になる〝協和會の歌〟發表

協和會では協和精神昂揚のため會が常に歌ひ得る「協和會の歌」を民生部囑託藤山一雄氏に依賴してゐたが、この程左の如く作詩成つたので、民生部敎育司編審室の一谷淸昭氏に作曲を依賴した、藤山氏は人も知る滿洲における文化運動の先驅者で多趣味の人であり、又作曲を引受けた一谷氏は隱れた音樂研究家で、一部には早くからこの才腕を認められた天才肌の人、この名コンビによりなる協和會の歌は朝夕會員の愛誦するところとならう、なほ首都本部でも藤山氏作詩の左の如き「首都本部の歌」を發表し同じく一谷氏に作曲を依賴した

△協和會の歌　藤山一雄

一、天雲もいゆきはゞかる　殖土の滿洲野を墾りて　かけまくもあやに畏く　國柱太敷き建てり

二、東は長白の嶺ゆ　黑龍の北の果まで　まどかなる諸族協和の　大御業ことほぎまつる

三、看よ儀と普天のもとを　神しろす一德一心　世を擧り新帝國の　基礎なす順天安民

四、あなたふと此の偉大なる　あかしこそ亜細亜を救ひ　やがてまた世界を統ぶる　大神のみはからひなり

△首都本部の歌　藤山一雄

荒野墾り　國都建つ　人爲の極み　さはあれど　夢なさしソドムゴムラと　蒼生は　煕々として　いそしみつどひ　常春を神しろすよき都會にせん

△註―ソドムゴムラはユダヤ人によりて建てられしイスラエルの首都なりしも、天意に反し物質文明の極をつくし遂に神の怒にふれ業火と地震に燒け碎けたり、舊約聖書の有名なる事實なり

大典記念武道大會 柔道申込締切

參加四十三組の盛況

大滿洲帝國武道會主催の第四回大典記念武道大會は愈よ十七日（柔道）廿四日（劍道）兩日大經路小學校に於て盛大に擧行される、これに先だち武道會では十一日柔道部の申込みを締切つたが、榮冠を目指して集まる全滿の强豪は昨年の優勝者旅順工大を始め本年新たに名乗りを擧げた滿洲醫大、哈爾濱學院等張り切つた學生軍や大黑河、海拉爾の官吏、會社員の聯合軍等總計四十三組三百餘人の盛況で何れも一騎當千の粒より揃ひ何れが勝つか全く豫想を許さず多大の期待をもつて待たれて居る、試合當日は全滿から集まつた教師の奥義を極めた型もある筈で空前の盛會が豫想され、また劍道部は既に三十餘組の申し込みがあり二十四日の締切りまでには柔道部におとらず多數參加するものと見られてゐる、武道會では十四日民生部に於て嚴正な抽籤を行ひ柔道部の組合せを決定する

關東局警察官 異動發表

行政權移讓に伴ふ關東局警察官の異動は十二日付を以て左の如く發令された

鳳凰城警察署勤務　警部　藤野信吾
范家屯警察署長に補す
關東局警務部高等警察課勤務　警部　保月義雄
蘇家屯警察署長に補す
元范家屯署長　警部　川本善四郎
新京警察署勤務を命ず
元蘇家屯署長　警部　阿部勇吉
安東警察署勤務を命ず
安東警察署勤務　警部補　占部義男
任通譯生兼警部　鳳凰城警察署勤務を命ず

鄕軍補充兵の特別敎育

在鄕軍人會新京第一分會は十三日より一週間に亘つて補充兵特別敎育を行ふ事となつた

遺骨凱旋

朔風吹き荒む北滿の野に名譽の戰死を遂げた皇軍勇士の遺骨五十三體は、十二日午後四時廿分新京驛着列車にて哈爾濱より無言の凱旋をなし、日滿官民はじめ新京在鄕軍人會國防婦人會、各中學校生徒ならびに多數有志に迎へられて太子堂に安置された

×　×

東滿曠野の華と散つた皇軍五勇士の遺骨は、十二日午後七時卅五分新京驛着列車で吉林より悲しき凱旋をなした、驛頭には在鄕軍人會、國防婦人會、市內各中等學校生徒はじめとして諸團體の出迎へをうけ親町の太子堂に安置された　なほ遺骨は十三日午前十時發はとで奉天へ向ふ豫定である

過日行はれし煤煙防止委員會主催座談會の席上▼一婦人あり問うて曰く「更に簡單なる方法もて燃料を節約し煤煙をなくする術なきや」と▼この時日滿商事のエキスパート堀君答へて曰く「あり、そは醋酸鉛を原料とせる藥品を投入するに如かず、即ち之を用ふれば濛々たる黑煙も忽ち白煙と化ししかも石炭は二割方節約を保證する」と▼熱心なる御婦人連俄かにざわめきて堀君の口許をみつめ次の言葉を待てり、堀君落ち着き拂つて▼曰く「されどこの藥品より發散する一酸化炭素は恐るべき猛毒にして鼻口は爛れ唇を腐敗せしむる……諸君煙なき街と鼻口のただれた街と何れを選ぶや」と▼瞬間婦人連黯然と聲をのむ、中に一婦人獨語して曰く「あゝ所詮簡單なる道はなきなり」と

天氣と氣溫

けふの天氣　西寄の風晴
日の出　前六時五〇分
日の入　後六時〇〇分
月の出　後二時一二分
月の入　後七時一七分
きのふの氣溫　最高一二度三　最低〇度三

義人長七郎（七十）

（禁上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

鴛鴦浪人（三）

「退いた〳〵」

と頭次馬を押退けて、縄のれんからヒョイと首を出した途端に、ちやうど傳之助の投げた徳利が、宙に、もんどり打ちながら飛んで來て藤吉の胸先へ發矢とばかり打衝りました。

「あッ、なにをしやがるッ」

相手は目明しです。腕に締持つ傳之助は、

「しまつた」

と思ひました。

いきなり飛出さうとしたが遅かつた。

「手前傳之助だな!」

襟際を取らうとした藤吉の手を危く脱れて、傳之助は、縄のれんを潜り出ました。

それを捕へようとして、藤吉は縄のれんから、腕だけ伸ばしたのです。

そして、縄に手應へがあつたと思つたら、こんどは反對に、その手を逆に捻ぢ上げられてしまひました。

「ア痛々々、なにをしやがる」

藤吉は、悲鳴をあげながら、のれんの外を透して見ました。

藤吉は、忽ち「あッ」と驚いたのです。

縄に、傳之助をつかまへた手應へに違ひないと思つたのに、豈図らんや、縄暖簾の間から透して見ると、それは傳之助では無くて、思ひがけない松平長七郎が立つて居て、その長七郎のために、自分は利腕を捻ぢ上げられてゐるのであつたからです。

身分の高い長七郎が、こんな場末の縄暖簾の前などに、何のために現れたのか、ちよつと合點の行かない話でした。

しかし、それは兎も角として、傳之助が危く脱れて戸外へ飛び出すと、その出會がしらに、パッタリ長七郎に打衝かつたのです。

チラと、長七郎を見て驚いた傳之助が、

「アッ若様!」

と、言はうとするのを、慌ただしく手を揚げてそれを止めた長七郎。

「早く逃げろ」

と、目顔で教へたのです。

その気持を察して、傳之助は、ペコ〳〵叩頭をしながら、いづこともなく逃げ去りました。

それを見送つて長七郎、藤吉の利腕を取つたまゝ、悠々として、縄暖簾を潜つて來ました。

氣高い上品な、繪にかいたやうな美男が現れたのです。場所が、縄暖簾「招き猫」の薄暗い店先なのです。長七郎の姿が、一際と際立つて見えたのです。

折柄、店に居合した面々は、みんな驚きの目を瞠張つたのでした。

「そちは藤吉とやら申す目明しではないか。何故あつて予を捕へようとするのだ。無禮者!」

鋭い聲もろとも、長七郎は捉へてゐた藤吉の手を、強く突き放しました。

「イエ、ナニ、今の野郎が、あれがお尋ね者の傳之助といふ奴なんで……」

面喰らして、痛む手首を擦りながら、しかし藤吉は、決して黙らない口が利けないのです。商賣の一件で、よほど慌てたものとみえます。

「ナニ? 予を科人とでも申すのか」

「イエナニ、ち、ち、違ひます。今、茲から逃出して行つた野郎のことなんで……」

「それなれば、何故彼の男を捕へないのだ。何故あつて予の體に、不禮の手を觸れたのだ」

「ソ、ソ、それは、人違ひなんで……まつたく……」